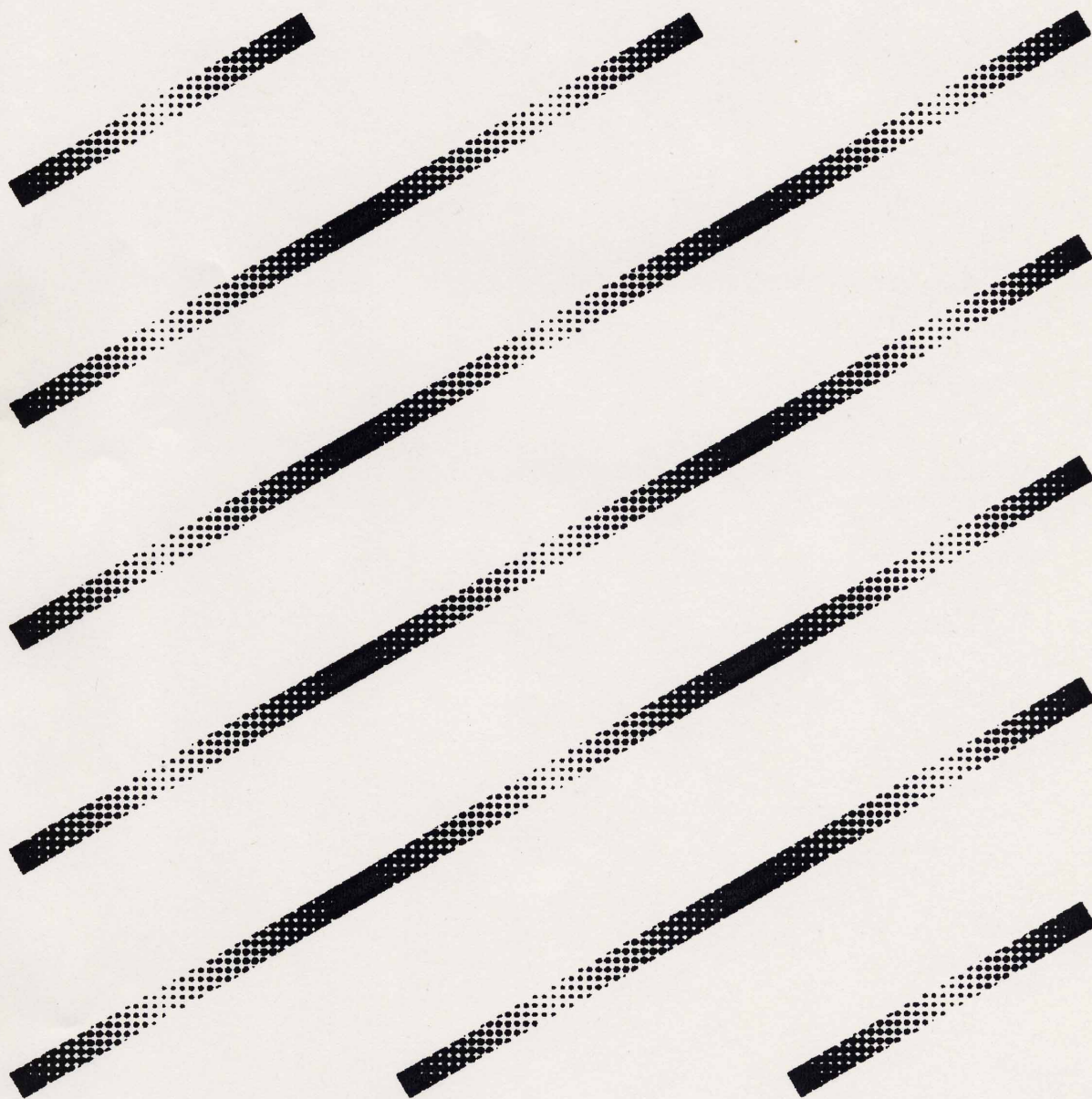




第17回

# 江東区政世論調査

平成17年



## 4 3 万都市としての自覚と誇りをもって

江東区政世論調査は、昭和48年から始めて今年で17回目となります。隔年で実施しておりますが、この2年間にも江東区政を取り巻く環境は大きく変化しています。とりわけ、本区の人口は急激な伸びを示しており、平成14年8月に40万都市を達成し、僅か約2年半後の来年早々には43万人になります。市町村合併によるのではなく、ひとつの自治体エリア内で、これだけの自然増がある自治体は全国でも極めて特異な現象と言えます。

人口増を象徴するひとつとして本調査における定住意向率の指標があります。平成元年以来、常に80%台半ばの水準を維持してきたこの率も、今回の調査では前回よりも2.6ポイント高い87.8%となっています。そのことから、本区がより一層住みやすくなったといえるのではないのでしょうか。下町の人情と思いやりといった地域風土に加え、水と緑に囲まれた住環境と都心へのアクセスの良さなどが、区民に受け入れられているものと考えております。一方、放置自転車対策や歩きタバコなど、極めて区民に密着した行政課題も派生してきております。

今回の調査では、経年で行っている調査項目のほか、「環境保全」、「清掃リサイクル」、「交通バリアフリー」など、本区にとって今後の重要課題を調査項目として取り上げました。今後も、高い定住率に満足することなく、既成市街地並びにウォーターフロントとして進化を続ける臨海ベイエリアの将来像も含め、皆様の生の声をお聴きしながら、より一層皆様の目線に立った区政を目指して参りたいと存じます。

最後に、本世論調査にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

平成17年12月

江東区長 室橋 昭

## 1. 調査の目的

江東区政の各分野について区民の意識や動向、意見や要望などを把握することにより、今後の区政運営の参考に資する。

## 2. 調査の内容

- |          |              |            |
|----------|--------------|------------|
| (1) 定住性  | (5) 環境保全     | (9) 長期基本計画 |
| (2) 情報化  | (6) 清掃リサイクル  | (10) 広報・広聴 |
| (3) 防災対策 | (7) 交通バリアフリー |            |
| (4) 介護保険 | (8) 選挙       |            |

## 3. 調査の設計

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 調査地域     | 江東区全域  |
| (2) 調査対象     | 江東区在住の満20歳以上の男女  |
| (3) 標本数      | 1,200人   |
| (4) 調査対象者の抽出 |  |
| 母集団          | 江東区住民基本台帳上の満20歳以上の男女   |
| 地点数          | 120地点(1地点10サンプル)   |
| 抽出法          | 層化2段無作為抽出法(層化 地点抽出 対象者抽出)  |
| 層化           | 1又は2箇所の出張所の所管区域を単位として7地区に層化(図1参照)                                    |
| 地点数配分        | 1地点が10サンプルとなるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した(合計120地点)                    |
| 地点抽出         | 各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法に従い、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。 |
| 対象者抽出        | 抽出された各地点のスタート点より、1地点10票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。                          |
| (5) 調査期間     | 平成17年6月24日～7月11日   |
| (6) 調査機関     | 株式会社 サベイリサーチセンター   |

図1 地区区分図



表1 地区・町丁名対応表

地区	該当町丁目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番)、新砂1丁目1番
豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀戸	亀戸
大島	大島
砂町	北砂、南砂(1丁目、5丁目)、南砂2丁目(24番~34番)、東砂(1丁目~5丁目)
南砂	東砂6丁目~8丁目、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番・24番~34番を除く) 3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1番を除く) 2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

#### 4. 調査方法

- (1) 実査方法 調査員による個別面接聴取法
- (2) 調査票 巻末綴じ込みの調査票を使用
- (3) 予告はがき 「江東区政世論調査のお願い」の調査訪問予告はがきをあらかじめ郵送した。
- (4) 再訪問 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて3回以上訪問し、調査が円滑に遂行されるように心掛けた。

#### 5. 回収結果

##### (1) 回収結果内訳

地 区	満 20 歳以上人口( 構成比 )	標本数	有効回収数	有効回収率
区 全 体	334,189 人 ( 100.0% )	1,200 票	1,017 票	84.8%
白河・小松橋	54,874 人 ( 16.4% )	200	179	89.5
富岡・東陽	50,839 人 ( 15.2% )	180	151	83.9
豊 洲	51,692 人 ( 15.5% )	190	155	81.6
亀 戸	39,009 人 ( 11.7% )	140	109	77.9
大 島	48,299 人 ( 14.4% )	170	144	84.7
砂 町	57,185 人 ( 17.1% )	200	173	86.5
南 砂	32,291 人 ( 9.7% )	120	106	88.3

- (2) 回収不能数 183 票 回収不能率 15.3%

##### (3) 回収不能内訳

回収不能項目	件数	構成比(%)
拒 否	61	33.3
長 期 不 在	13	7.1
短 期 不 在	83	45.3
転居・転出	12	6.6
住所不明	4	2.2
病気・入院・死亡	4	2.2
そ の 他	6	3.3

## 6. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基礎(n)として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると100%にならないことがある。
- (3) 標本誤差(サンプル誤差)はおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基礎(n)及び回答比率(P)によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N = 母集団数  
n = 比率算出の基数(サンプル数)  
p = 回答の比率

回答の比率 (p) 基礎(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,017	± 2.7%	± 3.5%	± 4.1%	± 4.3%	± 4.4%
800	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
600	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
400	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
200	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

(注) 1. 表は  $\frac{N - n}{N - 1} = 1$  として算出した。

2. 層化を行った場合、誤差は上表よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が1,017人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.1%である。」

## 7. 集計・分析にあたって

- (1) 集計は、単純集計、フェイスシートとのクロス集計、設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (2) フェイスシート7項目およびそれに準ずる設問として2項目を採用した。

地区別	ライフステージ別(F5)
性別(F1)	住居形態別(F6)
性・年齢別(F1×F2)	居住年数別(問1)
職業別(F3)	定住・転出意向別(問2)
家族人数別(F4)	

(3) 巻末相関表には、(2)の9項目を基本分類軸として掲載した。ただし、問25～問46の「長期基本計画」関連の質問は、上記項目のうち地区別、男女別、男女年代別、ライフステージ別の相関表のみを掲載している。

(4) 分析に使用したパーセント表示は、全体については小数点第2位を四捨五入して少数点第1位を算出したものを使用した。また、クロス集計によるグラフ上で比率の少ないものは省略した場合もある。したがって、同一項目で小数点第1位と少数点第2位の四捨五入で数値が異なる場合や、回答比率の合計が100%にならないものがある。

(5) 図、表中の数字で、「-」(バー)はその項目に該当する回答がまったくないものを示す。

(6) ライフステージの名称および内容は以下のとおりである。

独身期	40歳未満の独身者
家族形成期	40歳未満の子どものいない夫婦、または一番上の子どもが小学校入学前の人
家族成長前期	一番上の子どもが小・中学生の人
家族成長後期	一番上の子どもが高校・大学生の人
家族成熟期	64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
老齢期	65歳以上の人

(7) 「調査結果の分析」の分析軸で、職業別の内容は以下のとおりである。

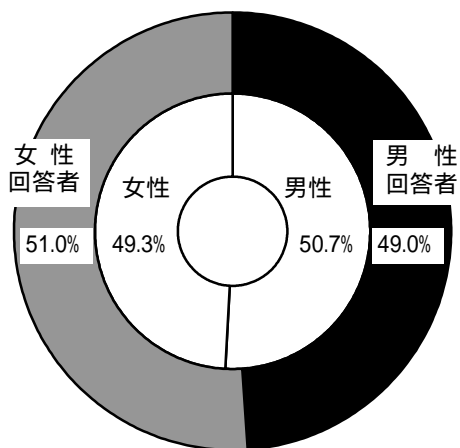
有職男性	男性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
有職女性	女性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
専業主婦	職業が「専業主婦」に該当する人
学生	職業が「学生」に該当する人
無職	職業が「無職」に該当する人

## 8. サンプル（調査回答者）特性

今回の回答者の特性は、下記のとおりである。なお、母集団とは住民基本台帳上の満 20 歳以上の男女全員である。

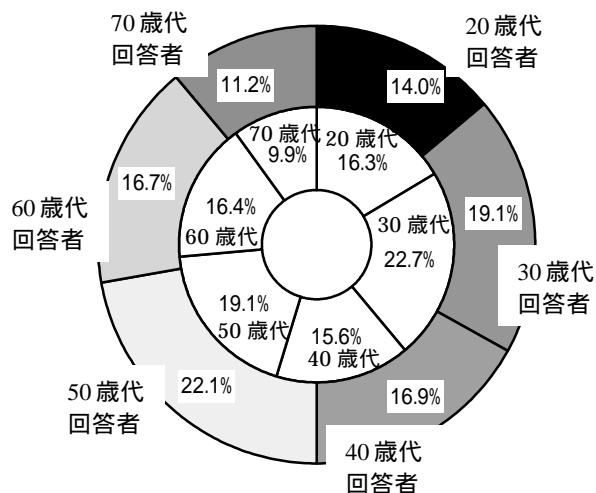
### （1）性別

母集団は男性の方が多いが、回答者は女性の方が多い。



### （2）年齢

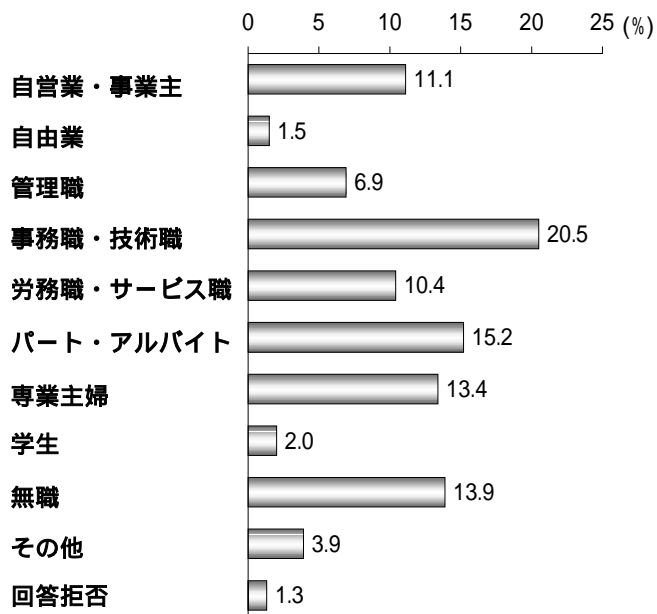
母集団の割合に比べて 30 歳代が小さく、50 歳代が大きい。



（注）内円は母集団（江東区在住の満 20 歳以上の区民）の構成比、外円は調査回答者の構成比を示している。

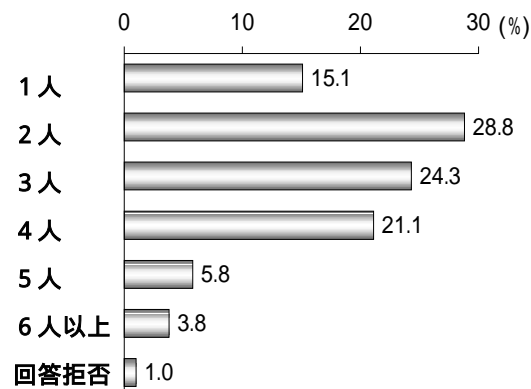
### （3）職業

事務職・技術職が最も多く、次いでパート・アルバイトが多い。



### （4）家族人数

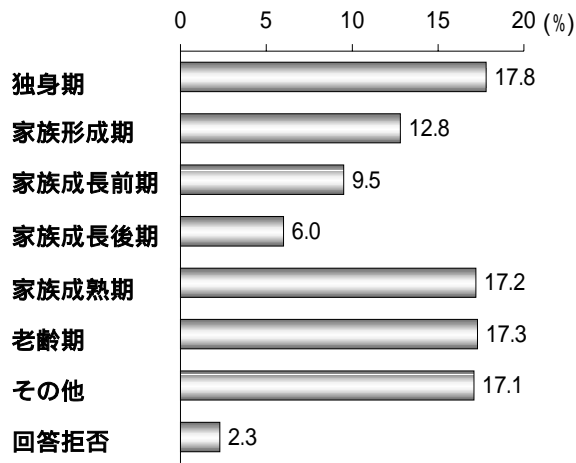
2～4 人家族がそれぞれ 2 割台となっている。





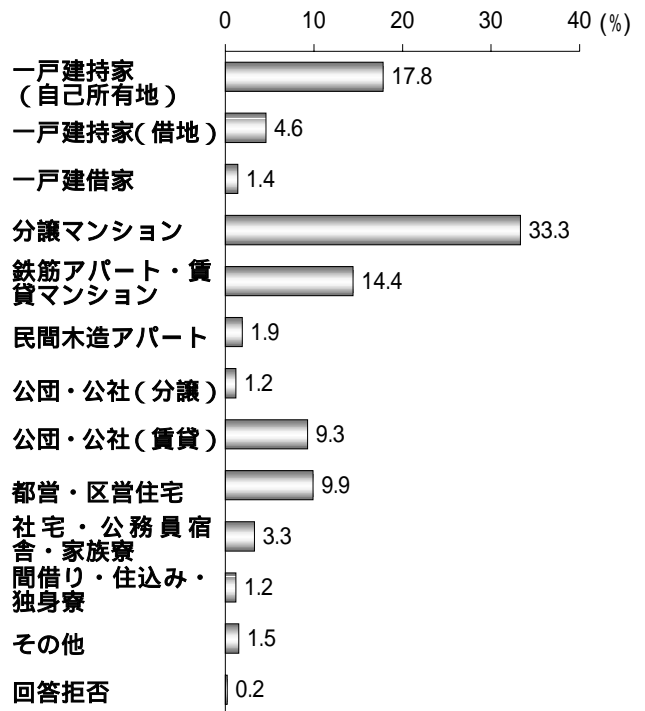
(5) ライフステージ

独身期が最も多く、老齡期と家族成熟期が僅差で続く。



(6) 住居形態

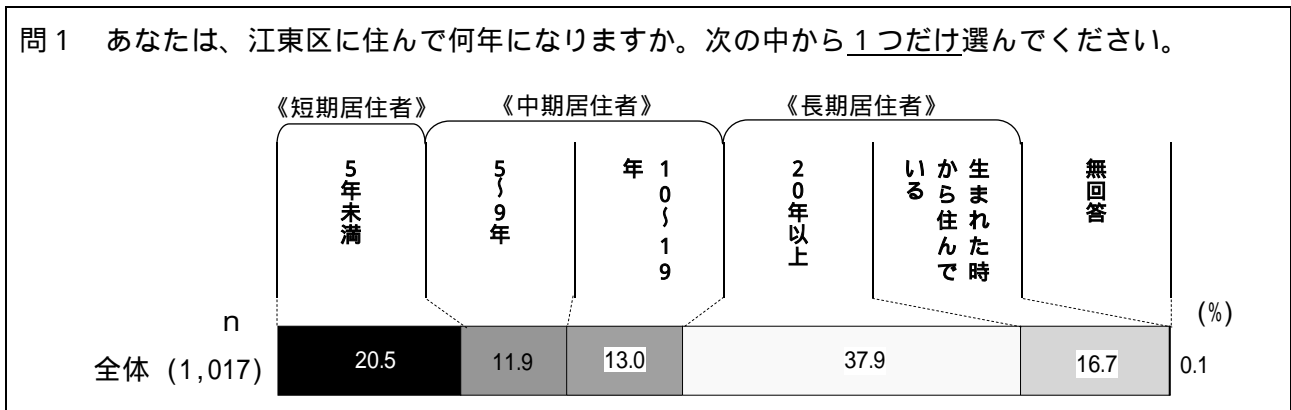
分譲マンションが最も多く、次いで一戸建持家(自己所有地)が多い。



【定住性】

(1) 居住年数

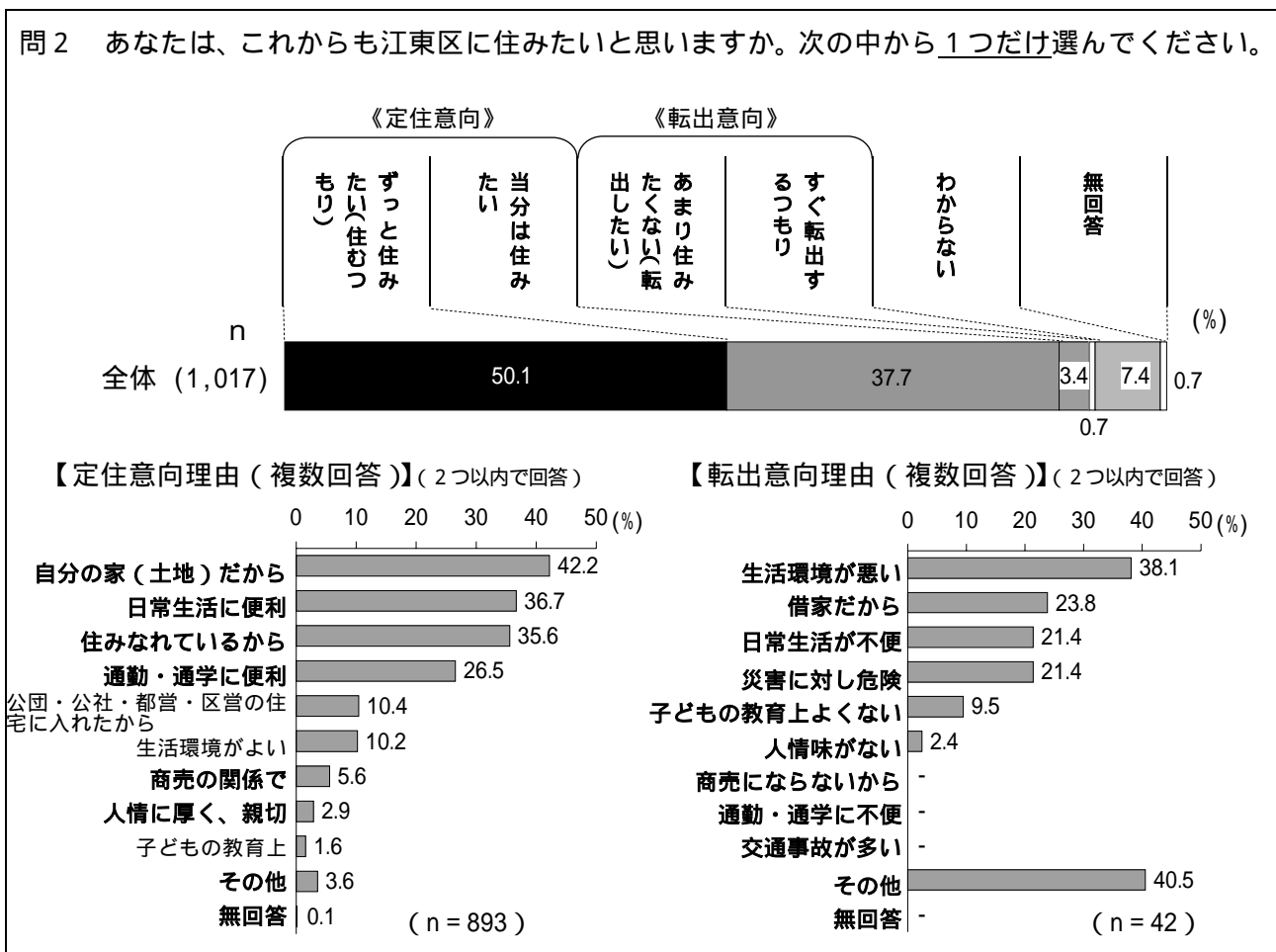
《長期居住者》が 54.6%



居住年数では、「20年以上」(37.9%)と「生まれた時から住んでいる」(16.7%)を合わせた、《長期居住者》(54.6%)は5割台半ばと半数を超えている。

(2) 定住・転出意向

《定住意向》が 87.8%



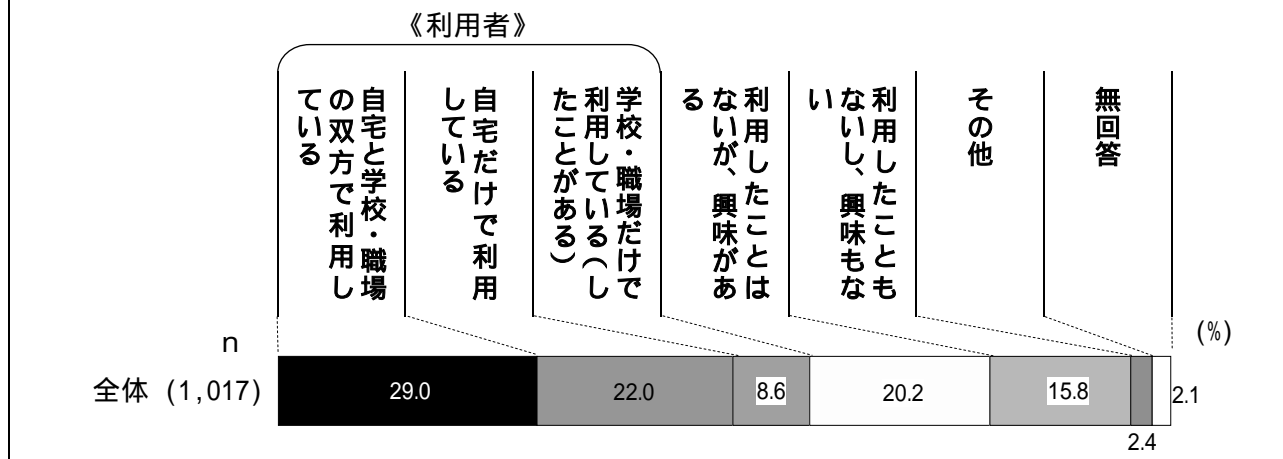
定住・転出意向では、「ずっと住みたい(住むつもり)」(50.1%)と「当分は住みたい」(37.7%)を合わせた、《定住意向》(87.8%)は9割近くとなっている。

## 【情報化】

### (1) インターネットの利用状況

《利用者》が59.6%で約6割

問3 現在、パソコンなどを使って家庭や職場から海外の情報を見ることができたり、電子メールのやりとりができるインターネットが急速に普及していますが、あなたは「インターネット」をどの程度利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。



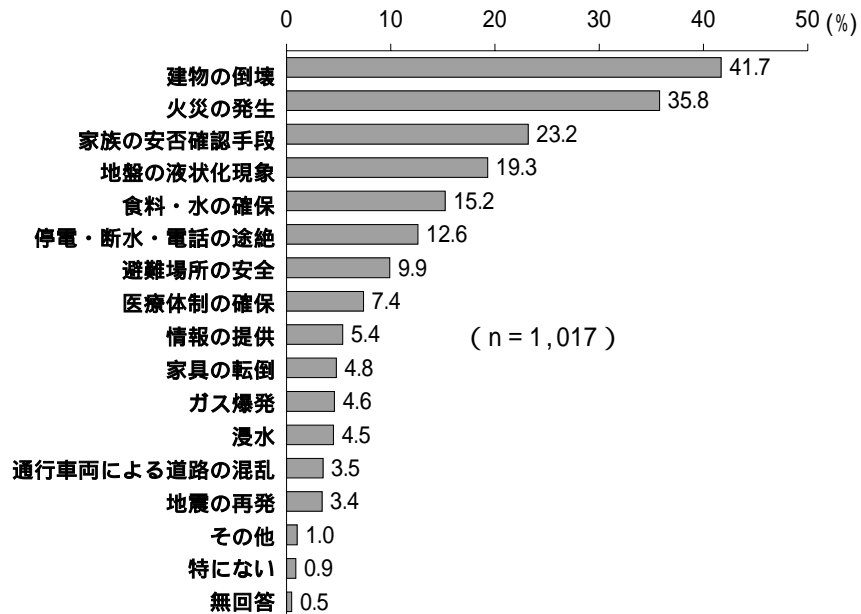
インターネットの利用状況としては、「自宅と学校・職場の双方で利用している」(29.0%)が約3割、「自宅だけで利用している」(22.0%)が約2割で、これら2項目に「学校・職場だけで利用している(したことがある)」(8.6%)を合わせた、《利用者》(59.6%)が約6割となっている。その一方で、「利用したことはないが、興味がある」(20.2%)は2割、「利用したこともないし、興味もない」(15.8%)は1割台半ばとなっている。

## 【防災対策】

### (1) 震災時の不安

「建物の倒壊」が約4割、「火災の発生」が3割台半ば

問4 身近に大地震が起きたとして、あなたが特に不安だと思うものを次の中から2つまで選んでください。

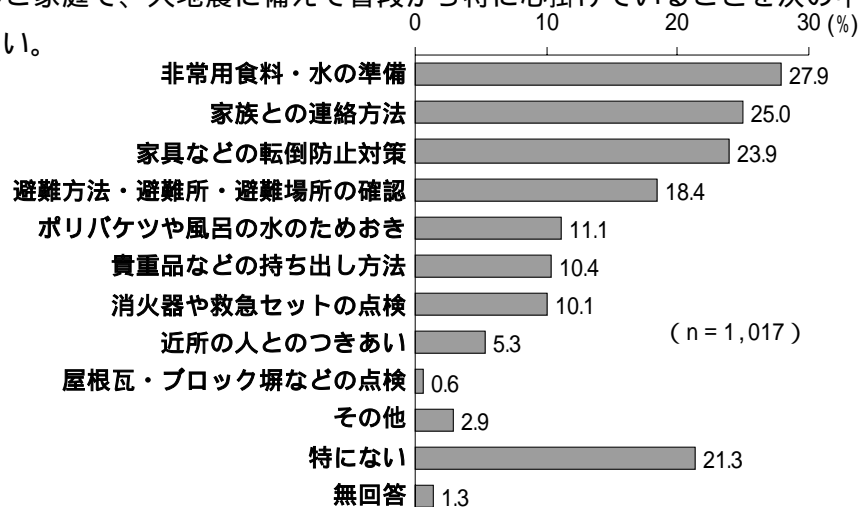


震災時の不安としては、「建物の倒壊」(41.7%)が4割を超え最も多く、続いて「火災の発生」が3割台半ばとなっている。

### (2) 震災時の備え

「非常用食料・水の準備」、「家族との連絡方法」と「家具などの転倒防止対策」が2割超。

問5 あなたのご家庭で、大地震に備えて普段から特に心掛けていることを次の中から2つまで選んでください。

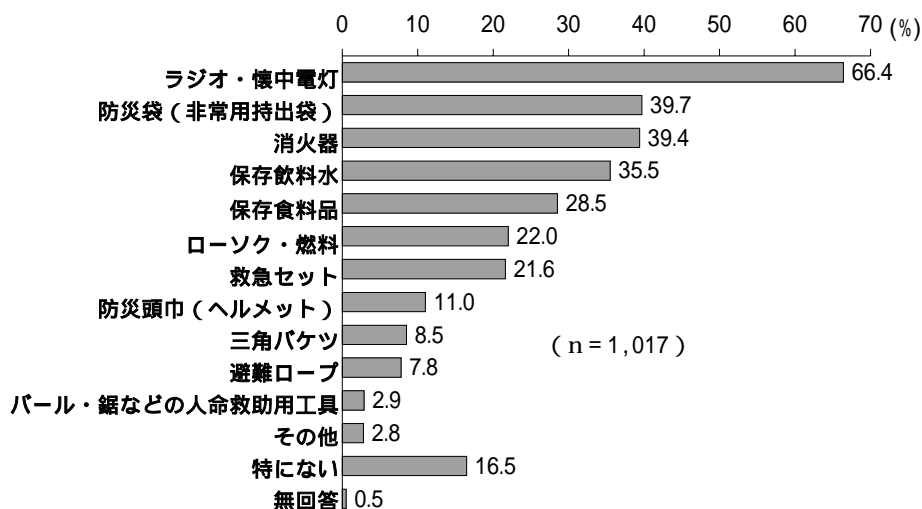


震災時の備えとしては、「非常用食料・水の準備」(27.9%)が最も高く、続く「家族との連絡方法」(25.0%)と「家具などの転倒防止対策」(23.9%)、それと「特にない」(21.3%)が2割を超えている。

### (3) 家庭内で準備している防災用品・用具

「ラジオ・懐中電灯」が66.4%で突出

問6 災害に備え、あなたのご家庭で現在準備している防災用品および用具を、次の中からいくつでも選んでください。

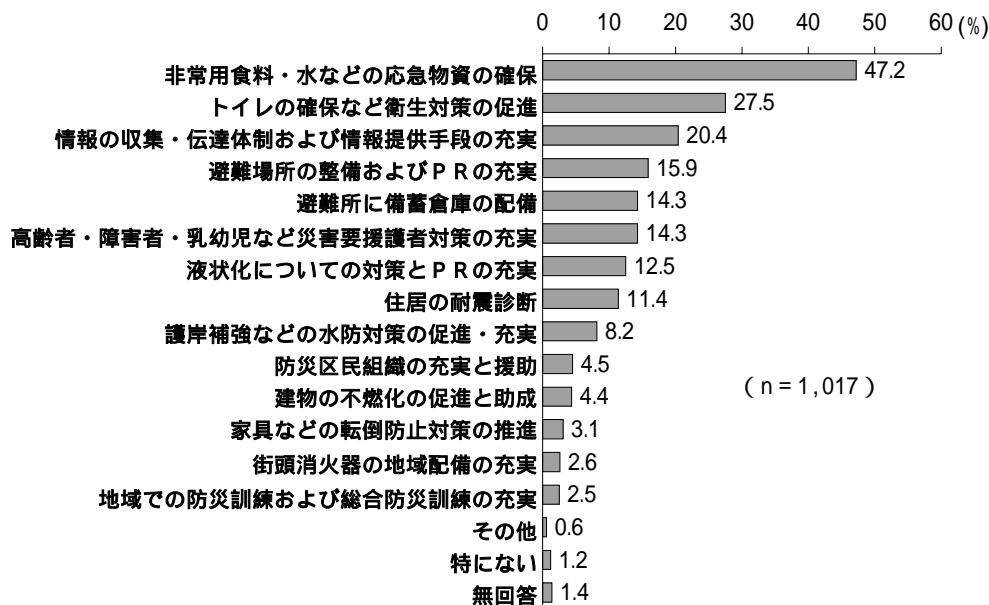


家庭内で準備している防災用品・用具では、「ラジオ・懐中電灯」(66.4%)が3世帯中2世帯と最も高く、続いて「防災袋(非常用持出袋)」(39.7%)と消火器(39.4%)が約4割となっている。

### (4) 防災対策への要望

「非常用食料・水などの応急物資の確保」が47.2%で突出

問7 あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことを次の中から2つまで選んでください。

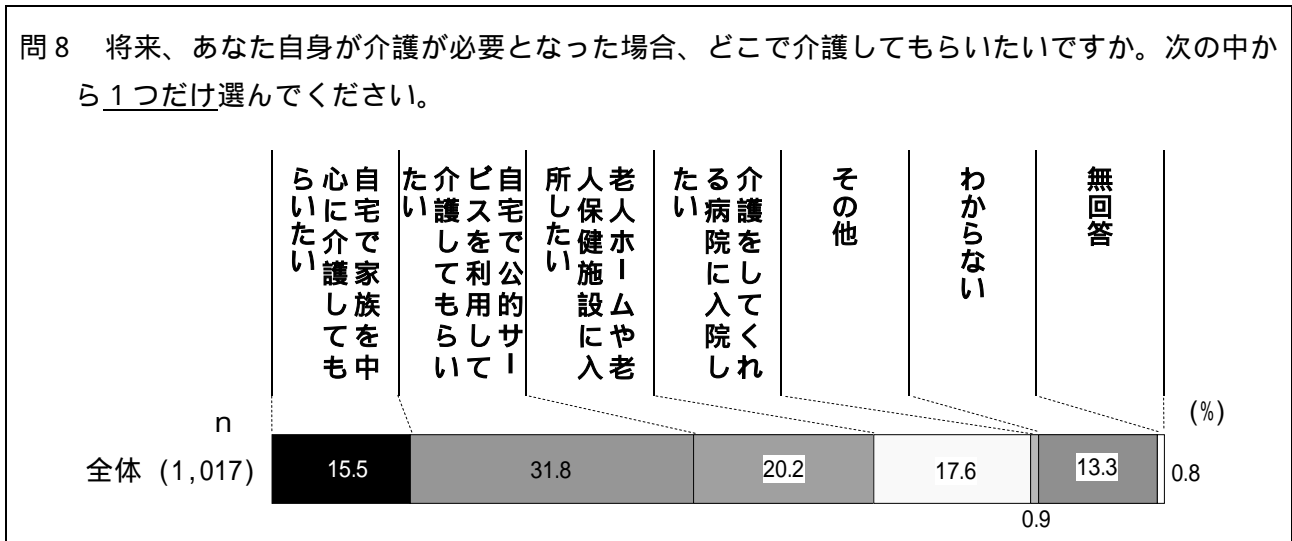


防災対策への要望としては、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(47.2%)が約5割で半数に近く、突出している。次いで、「トイレの確保など衛生対策の促進」(27.5%)が3割に近い。

## 【介護保険】

### (1) 将来、介護してもらいたい場所

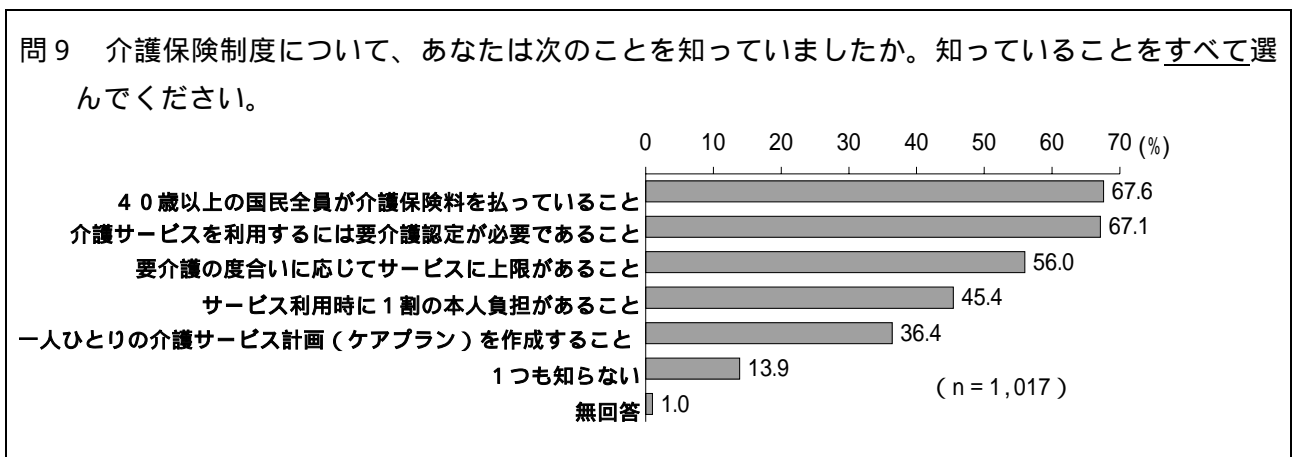
「自宅で公的サービスを利用して介護してもらいたい」が31.8%で最も多い



将来介護してもらいたい場所は、「自宅で公的サービスを利用して介護してもらいたい」(31.8%)が、3割強で最も高く、続いて「老人ホームや老人保健施設に入所したい」(20.2%)が2割となっている。

### (2) 介護保険の内容認知状況

「40歳以上の国民全員が介護保険料を払っていること」が67.6%と最も多い



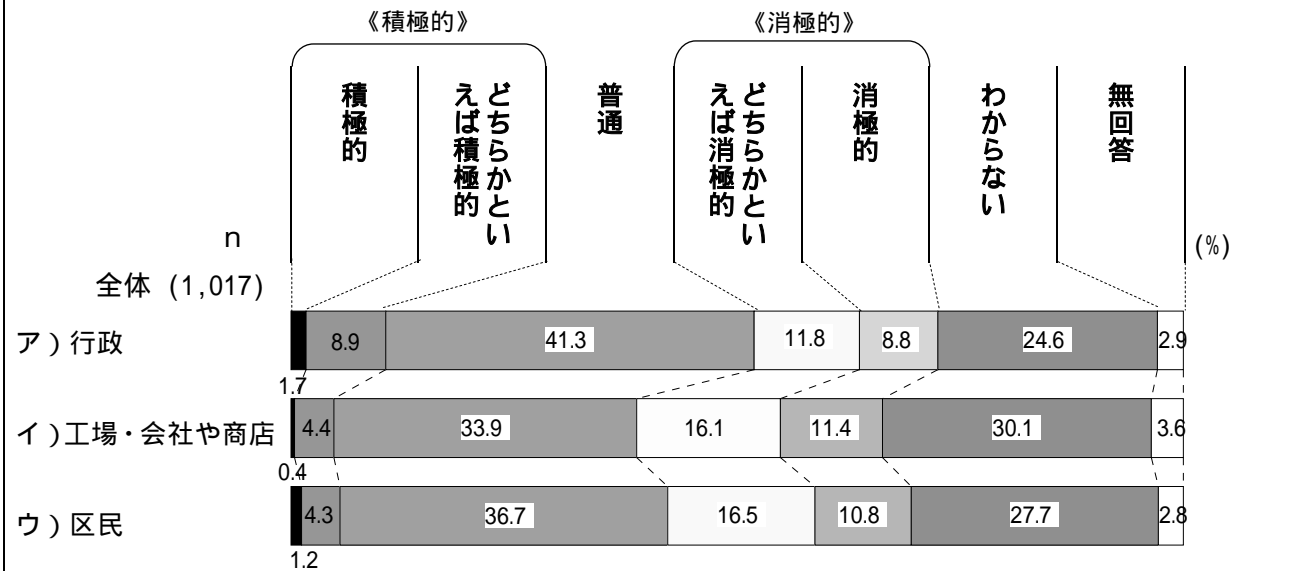
介護保険の内容の認知状況は、「40歳以上の国民全員が介護保険料を払っていること」(67.6%)と「介護サービスを利用するには要介護認定が必要であること」(67.1%)がともに3人に2人と高くなっている。また、「1つも知らない」(13.9%)が1割を超えている。

## 【環境保全】

### (1) 環境保全に対する取組み方への評価

“工場・会社や商店”への評価、《消極的》は27.5%で《積極的》の約5.7倍

問 10 行政、工場・会社や商店、区民、それぞれの環境保全に対する取組み方について、あなたはどのように評価しますか。あなたの評価に近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

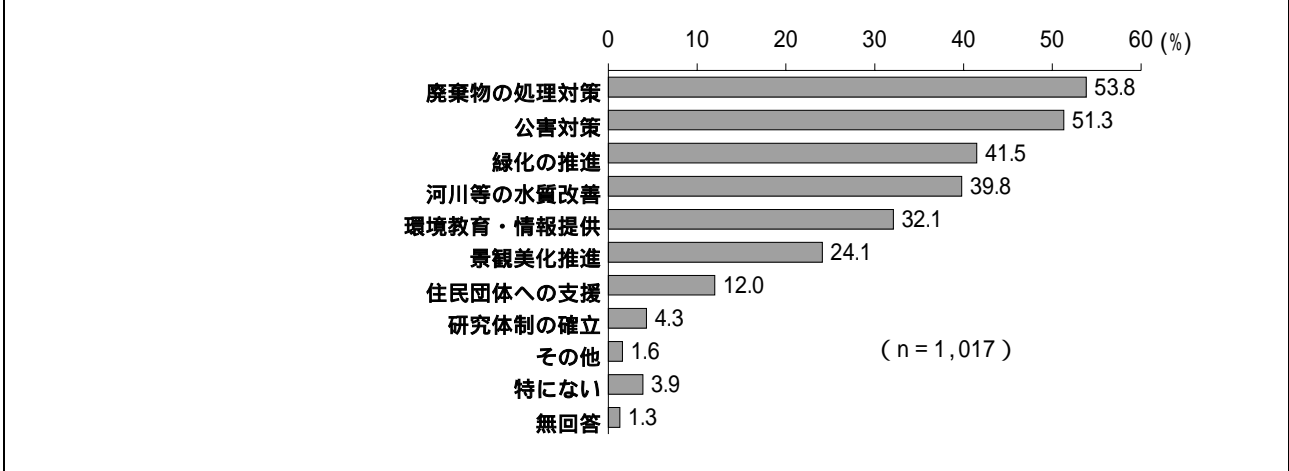


「積極的」と「どちらかといえば積極的」を合わせて《積極的》とし、「消極的」と「どちらかといえば消極的」を合わせて《消極的》とすると、《消極的》は、“行政”で20.6%、“工場・会社や商店”で27.5%、“区民”で27.3%と全てで《積極的》を大きく上回っている。

### (2) 行政に望む環境保全

「廃棄物の処理対策」と「公害対策」が5割を超え上位2項目

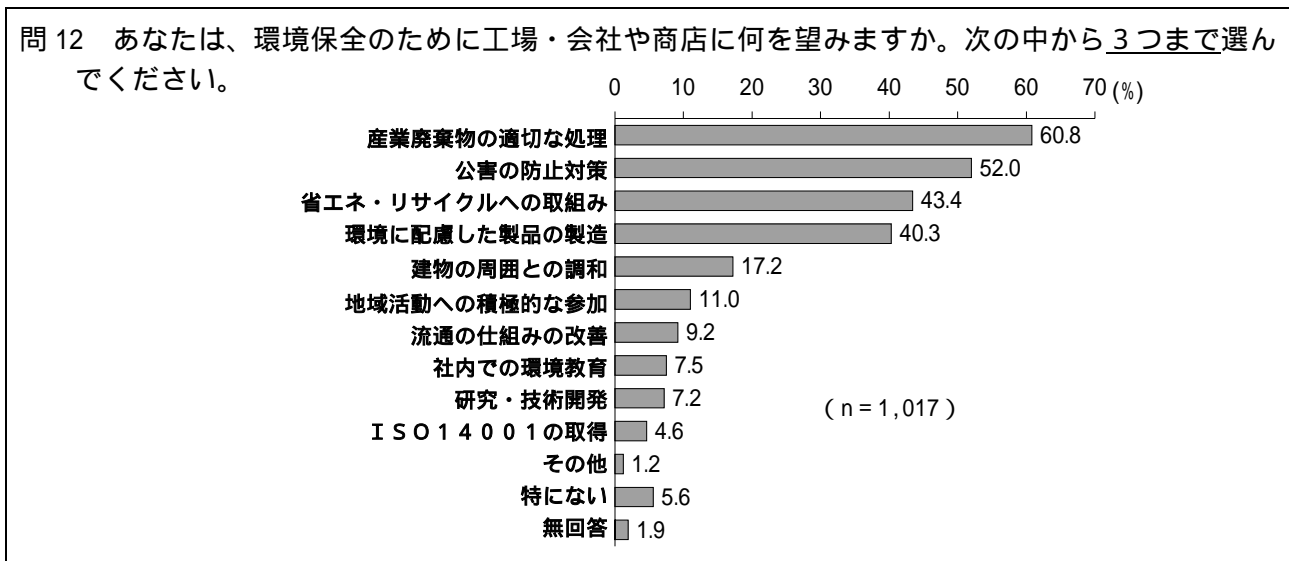
問 11 あなたは、環境保全のために行政に何を望みますか。次の中から3つまで選んでください。



行政に望む環境保全としては、「廃棄物の処理対策」(53.8%)が半数を超えて最も高く、僅差で「公害対策」(51.3%)が続いている。

### (3) 工場・会社や商店に望む環境保全

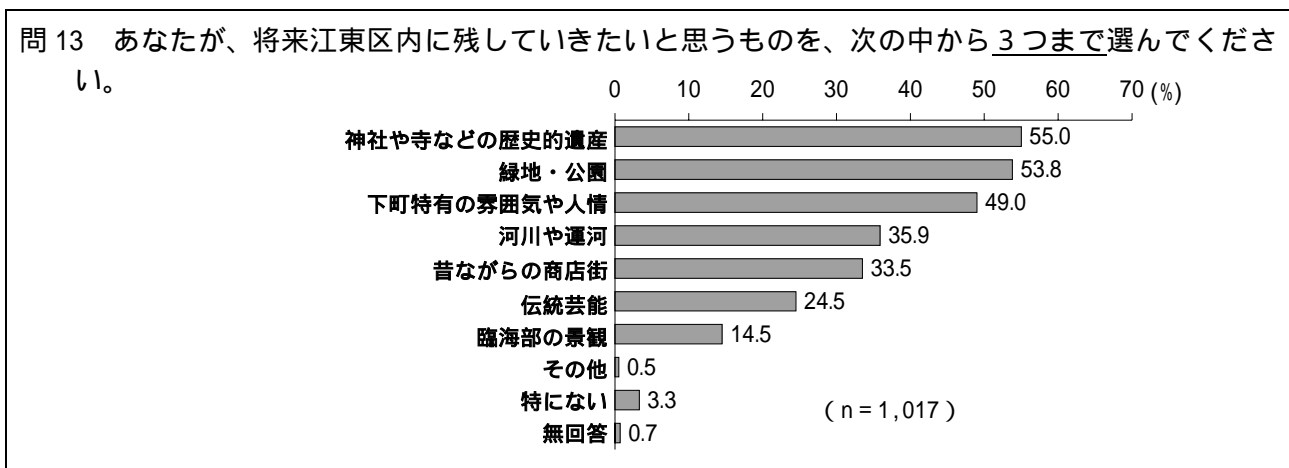
「産業廃棄物の適切な処理」が6割を超えトップ



工場・会社や商店に望む環境保全は、「産業廃棄物の適切な処理」(60.8%)が6割を超え最も高くなっていて、続いて「公害の防止対策」(52.0%)が5割を超えている。

### (4) 将来、江東区内に残していきたいもの

「神社や寺などの歴史的遺産」と「緑地・公園」が5割を超える



将来、江東区内に残していきたいものは、「神社や寺などの歴史的遺産」(55.0%)と「緑地・公園」(53.8%)が5割台半ばと高く、続いて「下町特有の雰囲気や人情」(49.0%)がほぼ半数となっている。

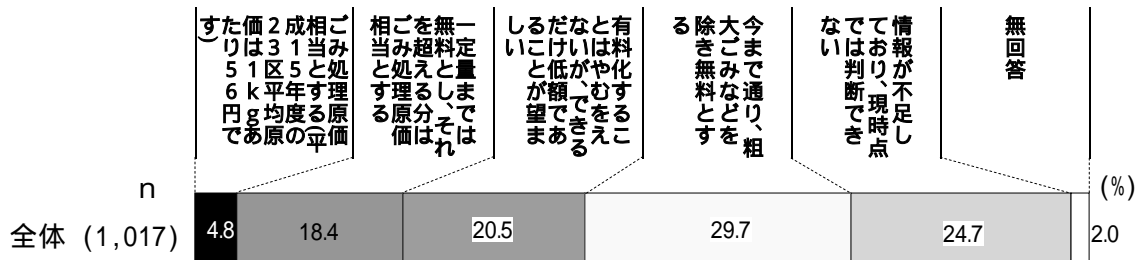


## 【清掃リサイクル】

### (1) 家庭ごみの処理手数料のあり方

「今まで通り、粗大ごみなどを除き無料とする」が約3割で最も多い

問 14 現在、家庭ごみの処理手数料は、1日平均10kgを超える量を排出する場合及び粗大ごみ等を排出する場合有料ですが、そのほかの場合は無料です。しかし、国の示した基本的な方針の中では、ごみの発生抑制、ごみの排出量に応じた負担の公平化の観点から、有料化を推進すべきとされています。現在の埋立処分場が、あと約30年でいっぱいになると言われる中、家庭ごみの処理手数料のあり方で、あなたの考えに近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

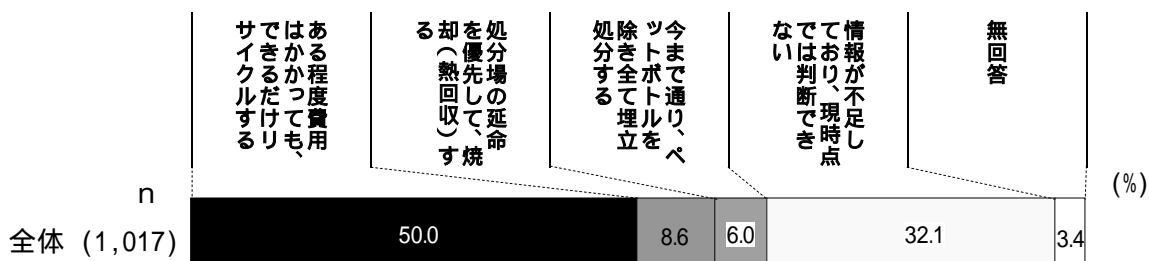


家庭ごみの処理手数料のあり方としては、「今まで通り、粗大ごみなどを除き無料とする」(29.7%)が約3割で最も高い。一方、「情報が不足しており、現時点では判断できない」(24.7%)が4人に1人となっている。

### (2) プラスチックごみの処理のあり方

「ある程度費用はかかっても、できるだけリサイクルする」が半数を占める

問 15 現在、プラスチックごみは、資源化しているペットボトルを除いて、不燃ごみとして集め埋立処分しています。しかし、国の示した基本的な方針の中では、ごみ処分場の延命化や資源の有効活用の観点から、容器包装のリサイクルを推進し、それでもなお残ったプラスチックごみは、熱回収(焼却)する方向でシステムを見直すことが適当だとしています。プラスチックごみの再生利用は処理経費が大幅に増大する可能性がありますし、熱回収(焼却)は二酸化炭素の排出量が増大するなどデメリットがあります。プラスチックごみの処理のあり方について、あなたの考えに近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

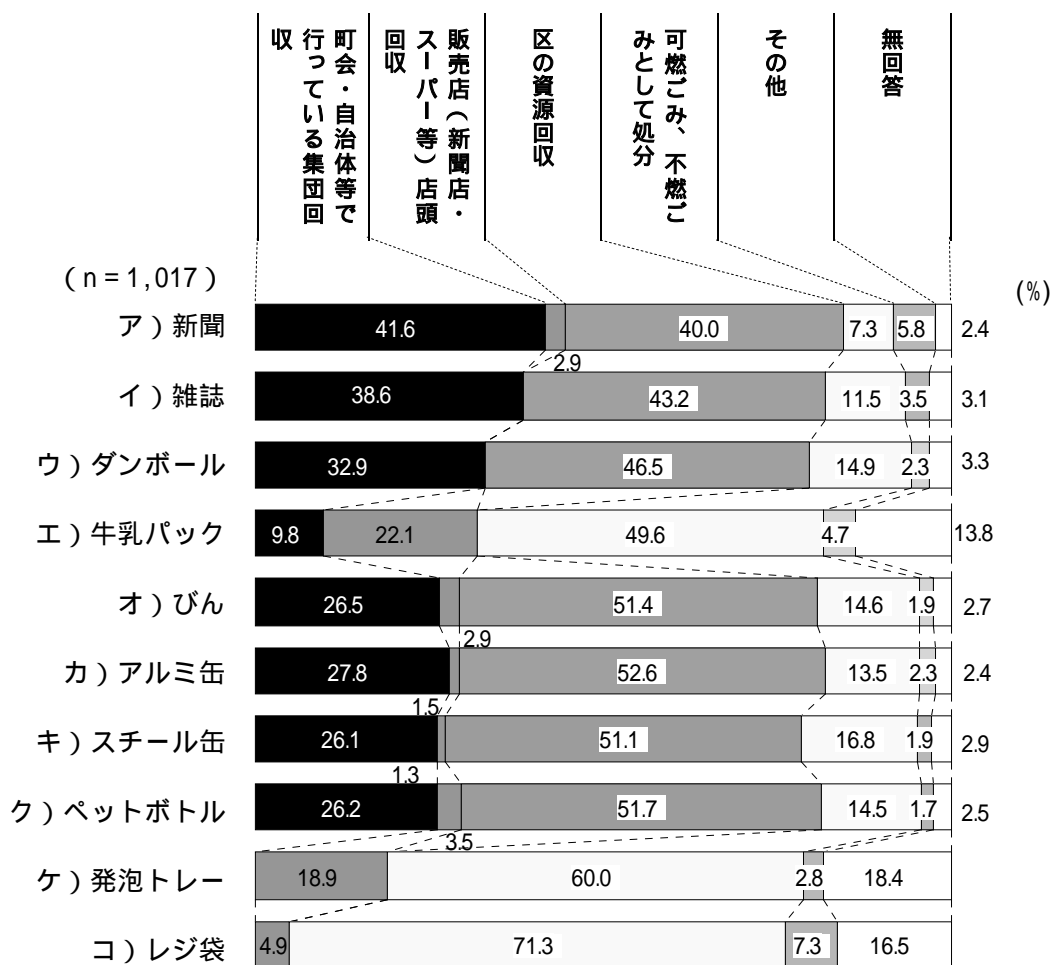


プラスチックごみの処理のあり方としては、「ある程度費用はかかっても、できるだけリサイクルする」(50.0%)が半数を占め突出している。一方、「情報が不足しており、現時点では判断できない」(32.1%)が3人に1人である。

### (3) 資源物の処分方法

「区の資源回収」があるものについては、全ての項目で4割以上が利用

問 16 あなたのご家庭では、次の(ア)から(コ)までの資源物は主にどの方法で処分していますか。それぞれについて1つずつ選んでください。

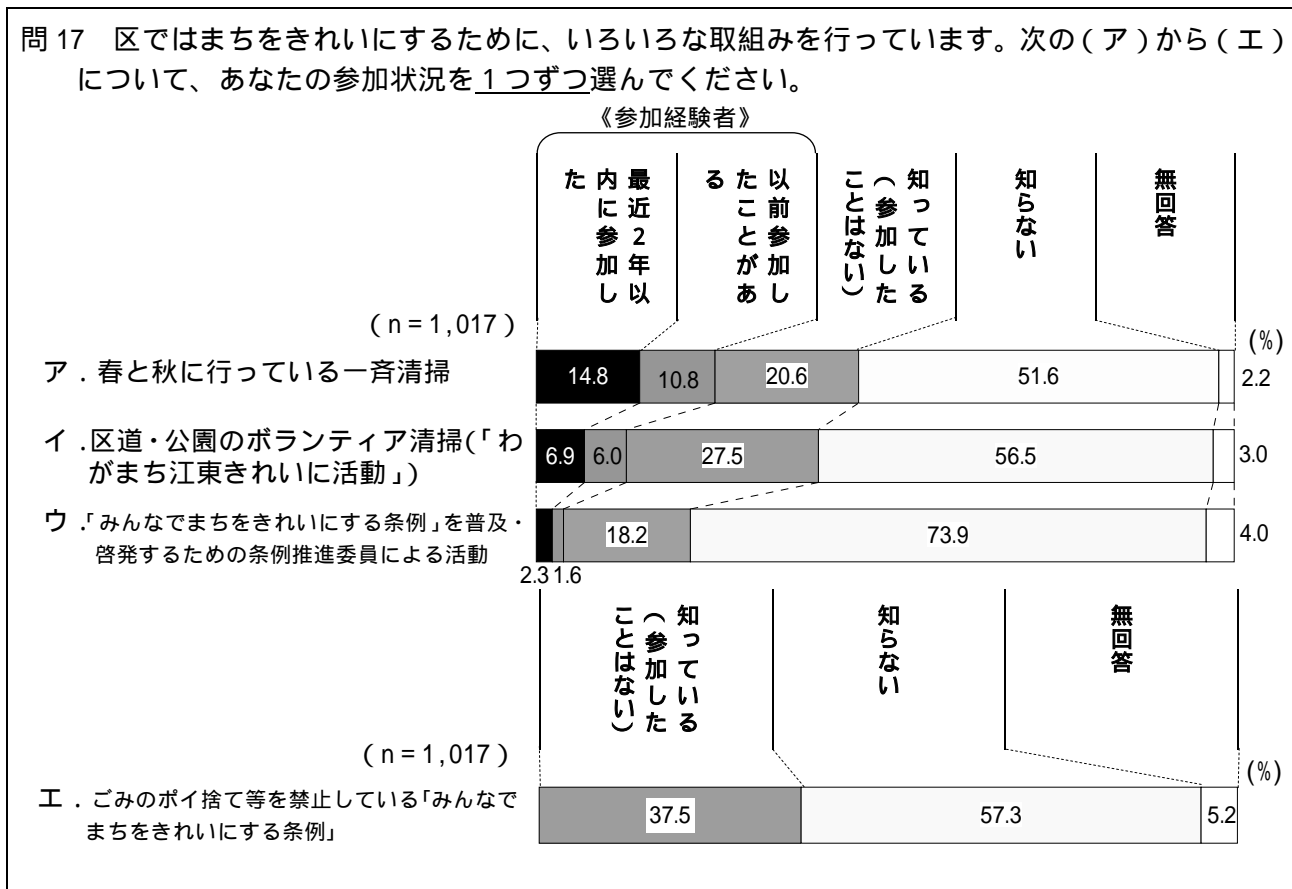


\* 「イ) 雑誌」、「ウ) ダンボール」では【販売店(新聞店・スーパー等)店頭回収】が、「エ) 牛乳パック」では【区の資源回収】が、「ケ) 発泡トレー」、「コ) レジ袋」では【町会・自治体等で行っている集団回収】、【区の資源回収】がそれぞれ選択肢からはずされている。

資源物の処分方法を聞いたところ、「区の資源回収」は、「アルミ缶」(52.6%)、「ペットボトル」(51.7%)、「びん」(51.4%)、「スチール缶」(51.1%) の4項目で半数以上となっている。一方「可燃ごみ・不燃ごみとして処分」されているものは、「レジ袋」(71.3%) が7割を超え、続いて「発泡トレー」(60.0%) が6割となっている。

(4) 区の美化活動への参加と認知状況

“春と秋に行っている一斉清掃”への《参加経験者》は2割台半ば

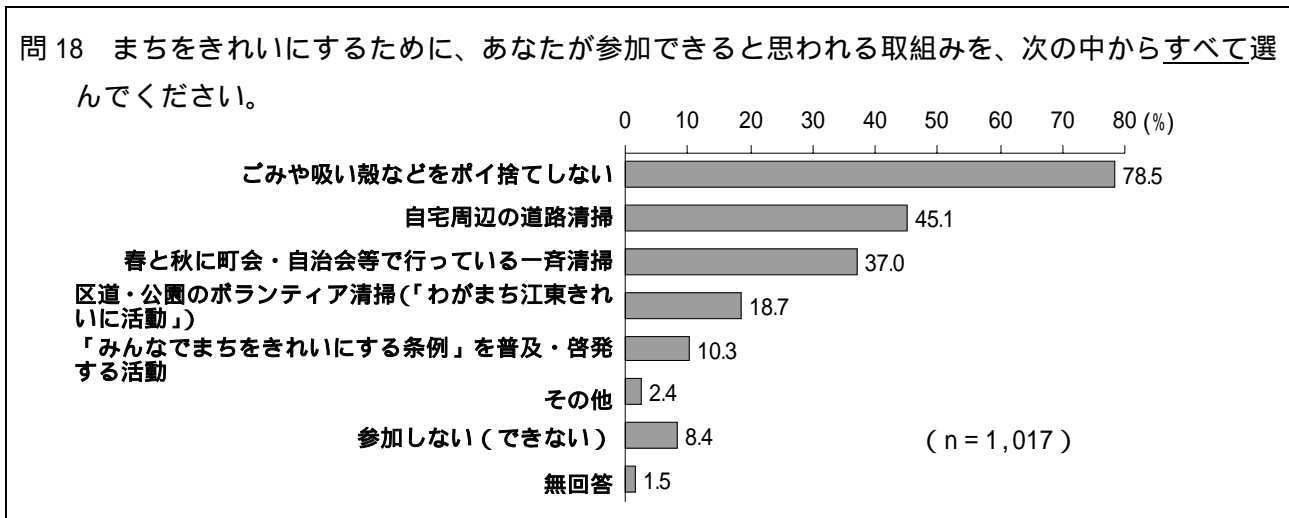


区の美化活動への参加状況は、「最近2年以内に参加した」と「以前参加したことがある」を合わせて、《参加経験者》とすると、最も高いのは“春と秋に行っている一斉清掃”(25.6%)で2割台半ばとなっている。

“ごみのポイ捨て等を禁止している「みんなでまちをきれいにする条例」”の認知では、「知っている(参加したことはない)」(37.5%)が3割台半ばを超えるのに対し、「知らない」(57.3%)の方が5割台半ばを超えて上回っている。

### (5) まちの美化活動への参加意向

「ごみや吸い殻などをポイ捨てしない」が78.5%で突出

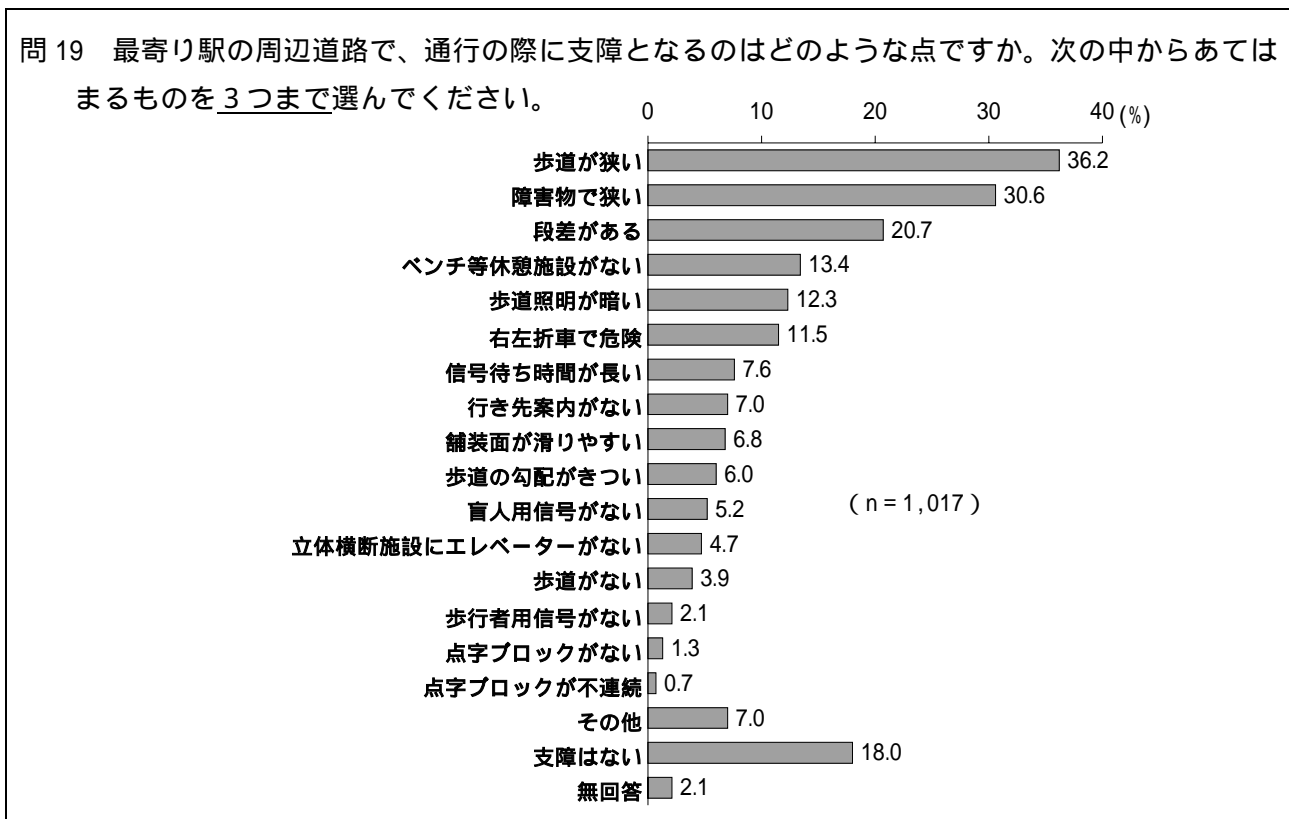


まちの美化活動への参加意向としては、「ごみや吸い殻などをポイ捨てしない」(78.5%)が8割に近く突出している。次いで、「自宅周辺の道路清掃」(45.1%)が4割台半ばである。

### 【交通バリアフリー】

#### (1) 最寄り駅周辺道路での通行の支障

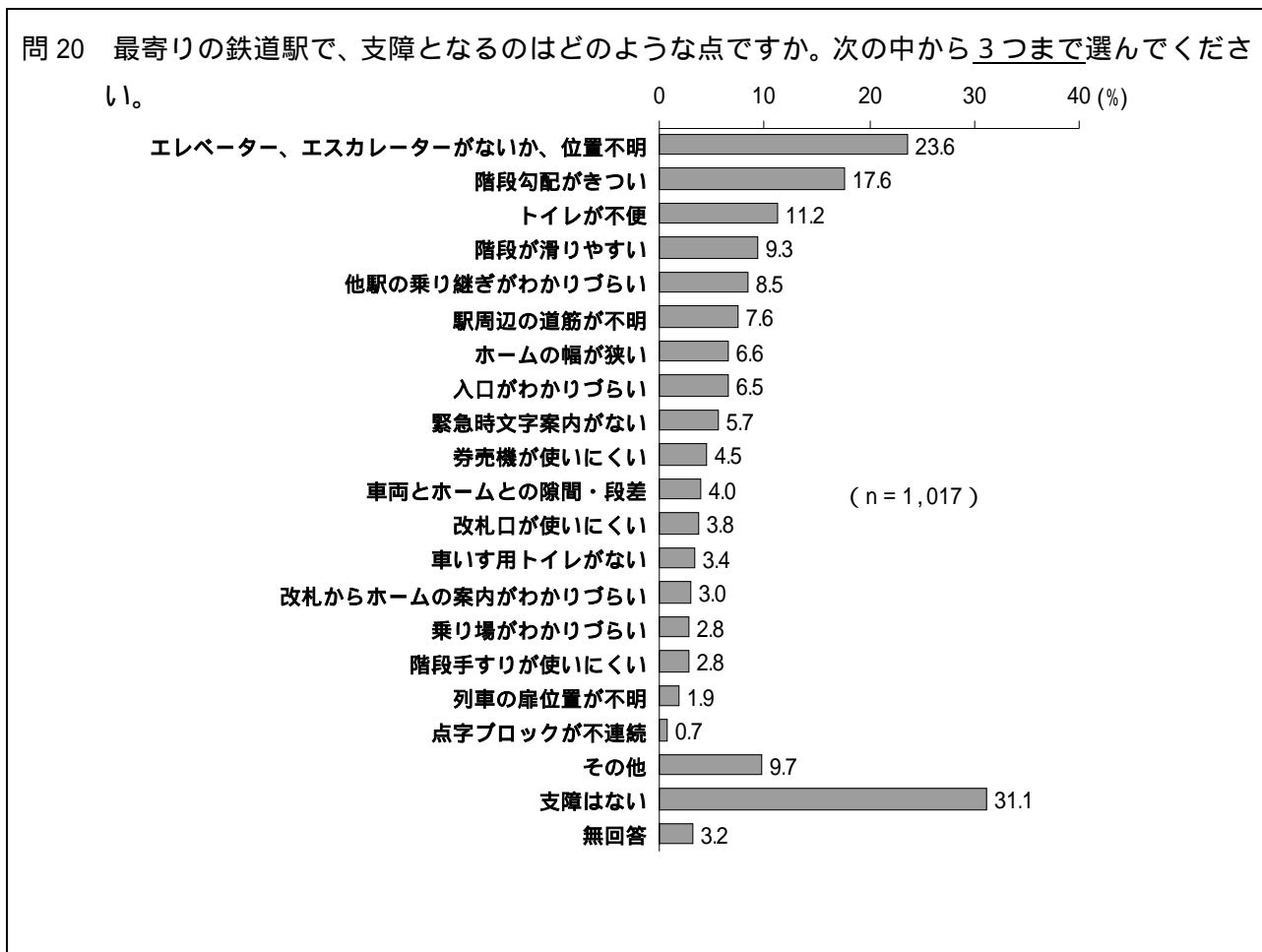
「歩道が狭い」が3割台半ばを超えトップで、「障害物で狭い」が3割



最寄り駅周辺道路での通行の支障としては、「歩道が狭い」(36.2%)が3割半ばを超え最も高く、「障害物で狭い」(30.6%)が約3割で続いている。一方、「支障はない」(18.0%)は2割弱となっている。

## (2) 最寄り駅での支障

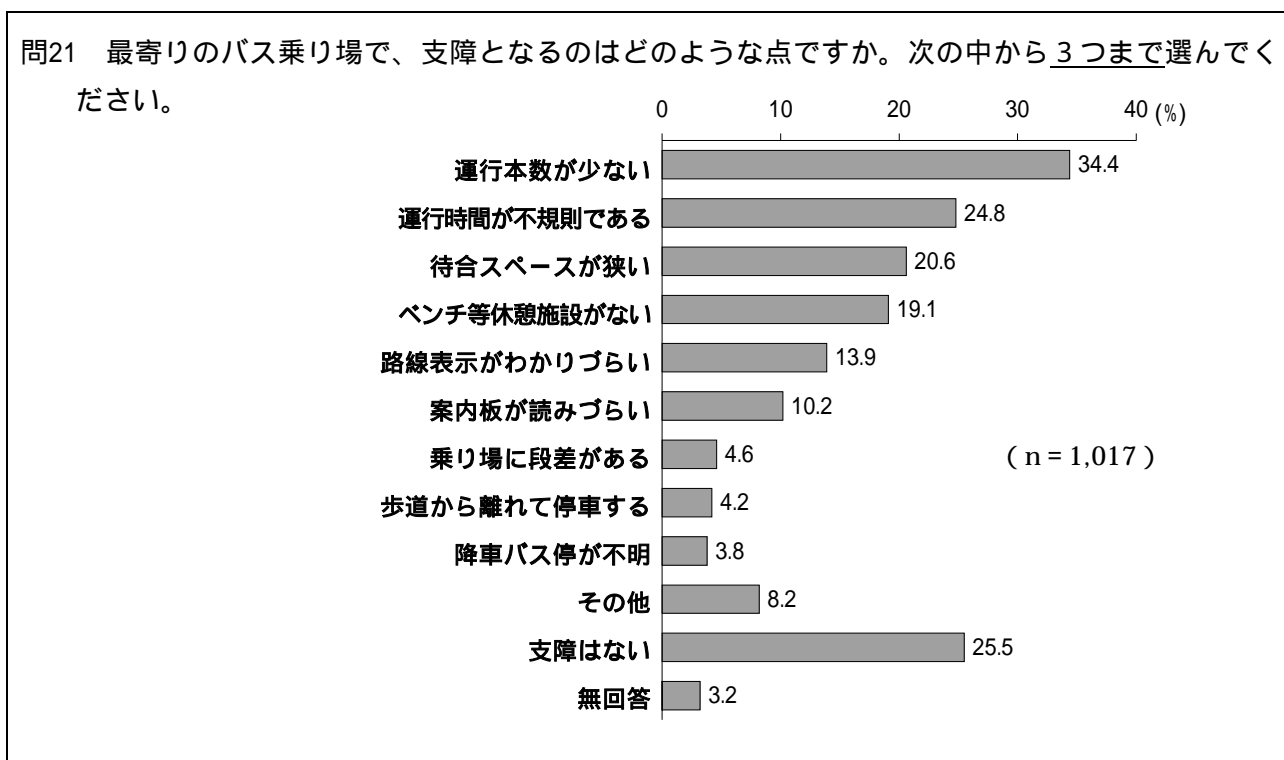
「エレベーター、エスカレーターがないか、位置不明」が2割を超える



最寄り駅での支障としては、「エレベーター、エスカレーターがないか、位置不明」(23.6%)が2割を超え最も高く、続いて「階段勾配がきつい」(17.6%)が1割台半ばを超えている。一方、「支障がない」は3割強となっている。

### (3) 最寄りバス乗り場での支障

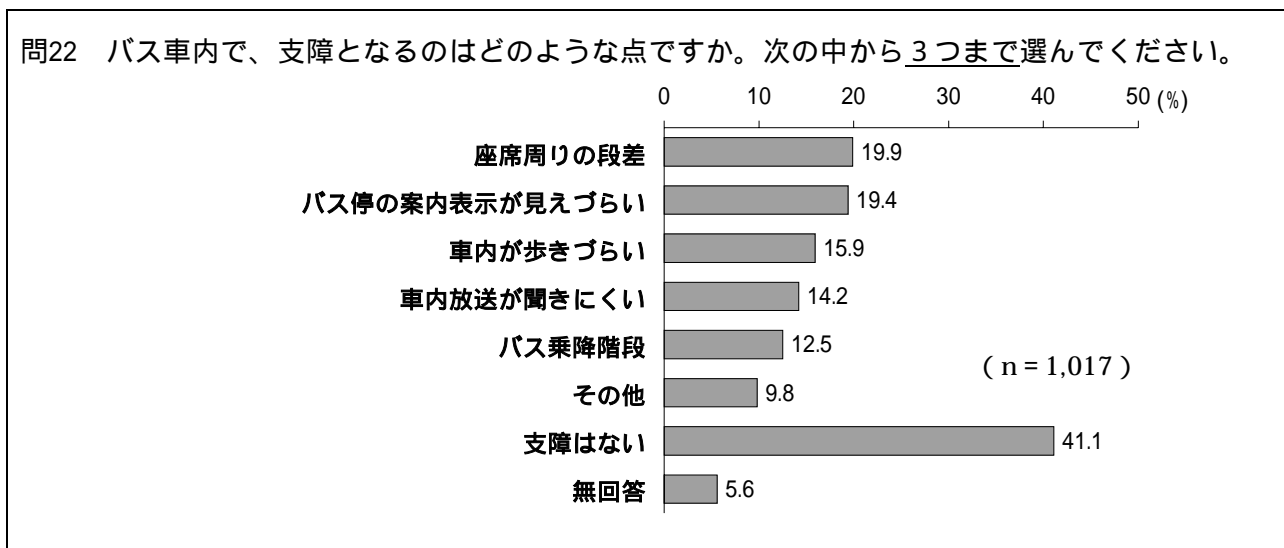
「運行本数が少ない」が3割を超えトップ



最寄りバス乗り場での支障としては、「運行本数が少ない」(34.4%)が3割台半ばで最も高く、続いて「運行時間が不規則」(24.8%)が4人に1人、「待合スペースが狭い」(20.6%)が2割を超えている。

### (4) バス車内での支障

「座席周りの段差」と「バス停の案内表示が見えづらい」が2割弱で上位2項目

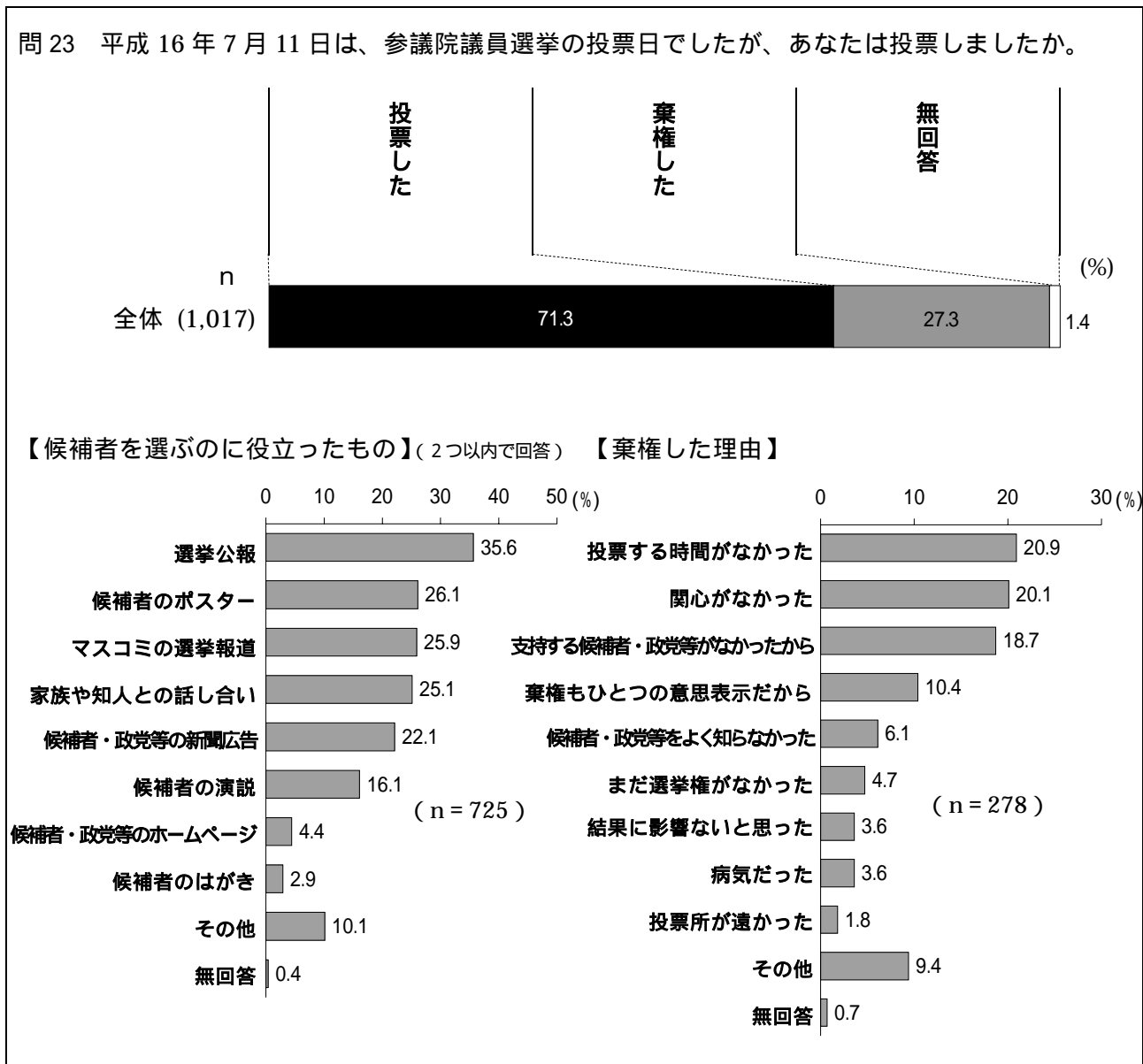


バス車内での支障は、「座席周りの段差」(19.9%)と「バス停の案内表示が見えづらい」(19.4%)の2つがほぼ2割で続いている。一方、「支障はない」(41.1%)は4割を超えている。

【選挙】

(1) 参議院議員選挙の投票の有無

「投票した」が7割を超え、「棄権した」を上回る



平成16年7月11日に行われた参議院議員選挙における投票の有無を聞いた。その結果、「投票した」(71.3%)は7割を超え、「棄権した」(27.3%)の2割台半ばを上回っている。

(注；実際の投票率は57.1%であった。)

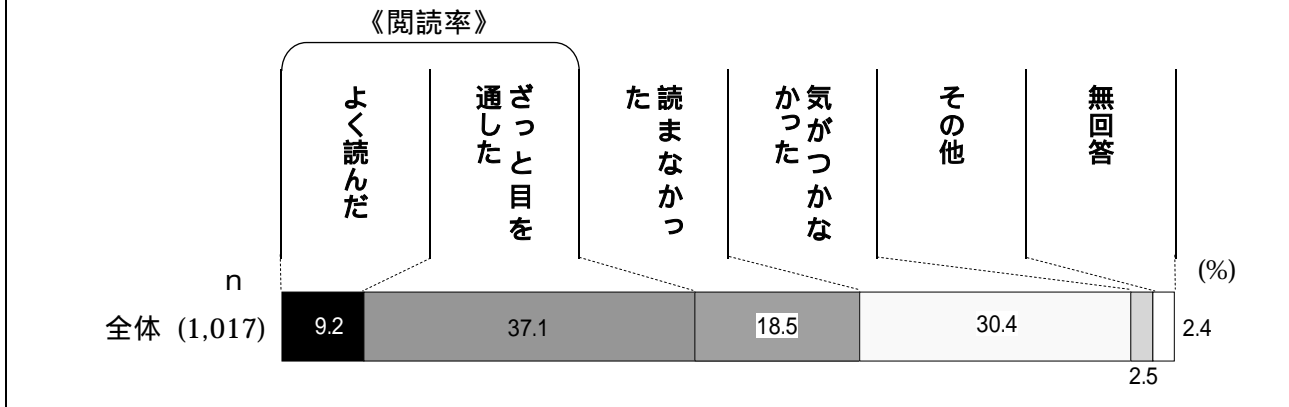
「投票した」と回答した人に、候補者を選ぶのに役立つものを聞いたら、「選挙公報」(35.6%)が3割台半ばで最も高くなっている。

「棄権した」と回答した人の理由は、「投票する時間がなかった」(20.9%)が最も高く、僅差で「関心がなかった」(20.1%)がともに2割を超えている。

## (2) 「選挙公報」の閲読度

《閲読率》は46.3%

問 24 区の選挙管理委員会では、参議院議員選挙の「選挙公報」を新聞折り込みや区内各施設、区内各駅に公報スタンドを設置し配布しましたが、あなたはお読みにになりましたか。次の中から1つだけ選んでください。



「選挙公報」の閲読度としては、「よく読んだ」(9.2%)は1割弱に留まるものの、「ざっと目を通した」(37.1%)は3割台半ばを超え、両者を合わせた《閲読率》(46.3%)は4割台半ばを超えている。



【長期基本計画】

(1) 過去1年間に参加した生涯学習・スポーツ

《参加経験者》は“ 伝統文化・芸能（祭りなど）” が最も高く 16.2%

問 25 あなたは、この1年間に次の各分野の学習活動や講座、地域の集まりなどに参加したことがありますか。次の（ア）から（シ）の各分野ごとに1つずつ選んでください。

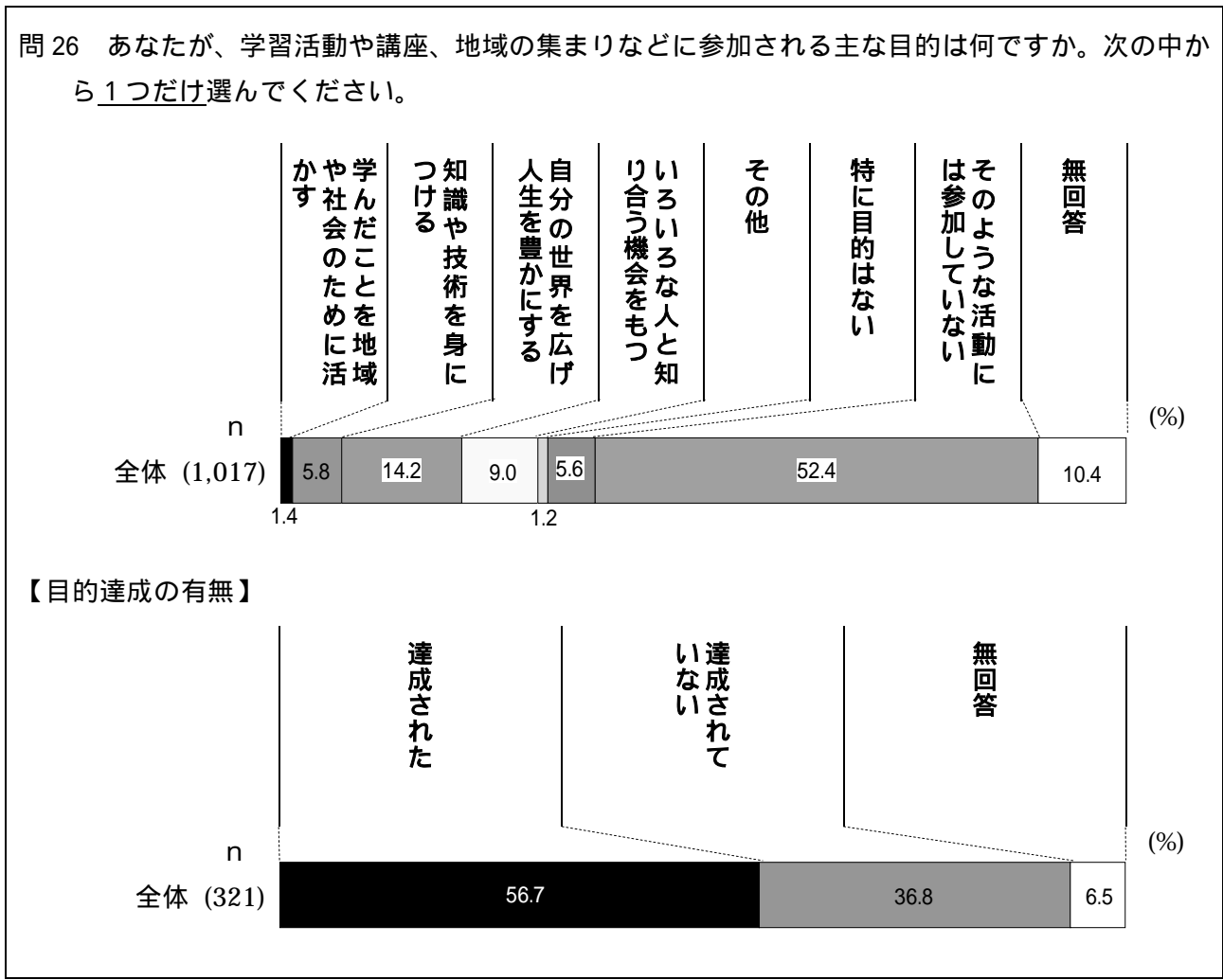
(n = 1,017)

	初めて参加	以前から参加	参加しない	(無回答)
ア．趣味（茶道・生け花・書道など）	1.1%	5.7%	88.8%	4.4%
イ．パソコン	1.8%	2.6%	90.5%	5.2%
ウ．娯楽（囲碁・将棋など）	0.6%	1.1%	92.7%	5.6%
エ．教養（語学・歴史・文学など）	1.5%	3.8%	89.1%	5.6%
オ．芸術・文化（絵画・音楽など）	1.7%	6.5%	86.5%	5.3%
カ．職業・技術（資格取得）	0.9%	3.5%	90.5%	5.1%
キ．国際理解・国際協力	0.4%	1.7%	92.2%	5.7%
ク．ボランティア活動	1.1%	6.7%	87.1%	5.1%
ケ．NPO活動	0.2%	1.5%	92.4%	5.9%
コ．伝統文化・芸能（祭りなど）	2.1%	14.1%	78.7%	5.2%
サ．レクリエーション（つり、ハイキングなど）	0.8%	6.4%	88.2%	4.6%
シ．スポーツ（野球・テニスなど）	2.9%	8.6%	83.7%	4.9%

12項目について過去1年間の参加状況を聞いたところ、「初めて参加」と「以前から参加」を合わせた《参加経験者》で最も多いのは、“ 伝統文化・芸能（祭りなど）”（16.2%）で1割台半ばを超える。逆に、「参加しない」はいずれの項目でも多数を占めているが、中でも、“ 娯楽（囲碁・将棋など）”（92.7%）、“ NPO活動 ”（92.4%）、“ 国際理解・国際協力 ”（92.2%）、“ パソコン ”（90.5%）、“ 職業・技術（資格取得）”（90.5%）の5項目は9割を超える。

(2) 生涯学習活動に参加する目的

「自分の世界を広げ人生を豊かにする」が14.2%だが、「活動には参加していない」が過半数

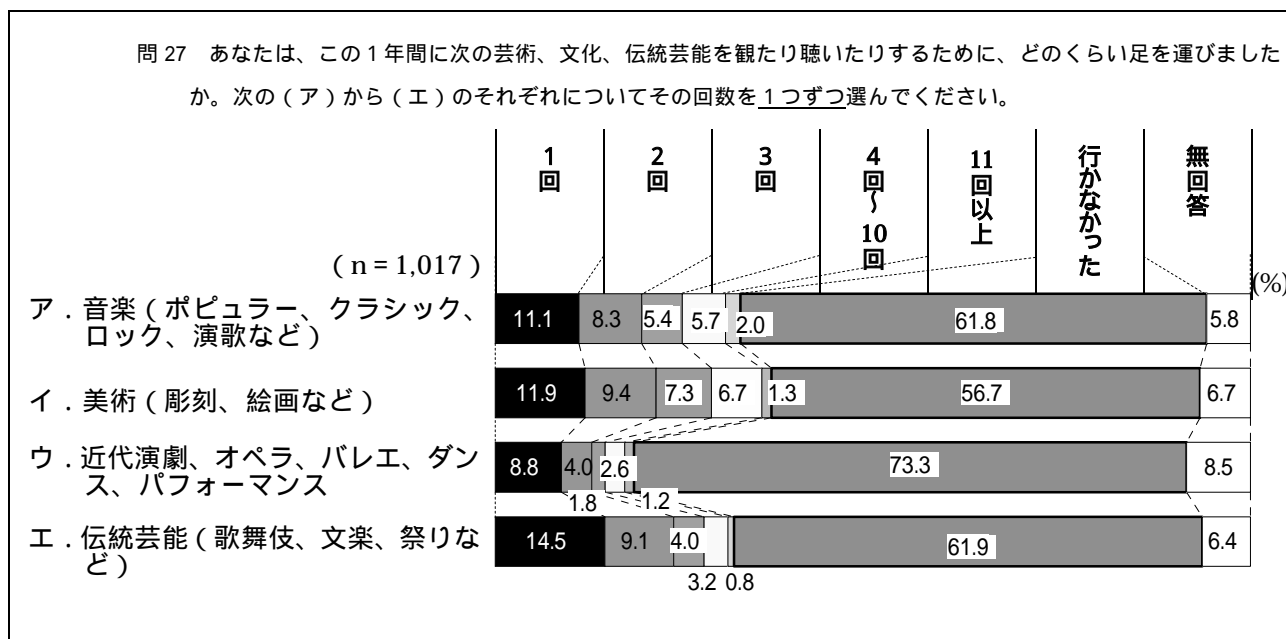


生涯学習活動に参加する目的としては、「自分の世界を広げ人生を豊かにする」(14.2%)が最も高く、続いて「いろいろな人と知り合う機会をもつ」(9.0%)が約1割となっている。一方、「そのような活動には参加していない」(52.4%)が半数を超えている。

何らかの目的をもっていると回答した方が、その目的が達成できたかどうかでは、「達成された」(56.7%)は5割台半ばを超え、「達成されていない」(36.8%)の3割台半ばを上回っている。

### (3) 芸術、文化、伝統芸能の鑑賞頻度

比較的多く鑑賞されているのは“美術（彫刻、絵画など）”

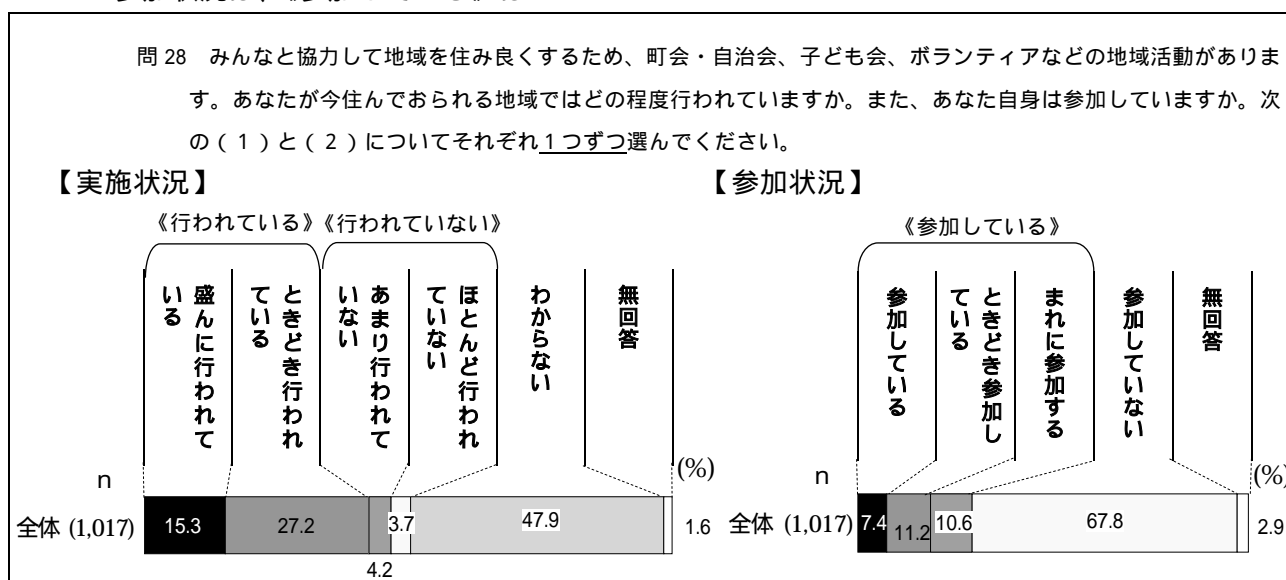


1回以上鑑賞しているものは、“美術（彫刻、絵画など）”(36.6%)で3割台半ばを超え、続いて“音楽（ポピュラー、クラシック、ロック、演歌など）”(32.5%)と“伝統芸能（歌舞伎、文楽、祭りなど）”(31.6%)の2つが3割を超えている。一方、全ての芸術、文化、伝統芸能で「行かなかった」が半数を超え、特に「近代演劇、オペラ、バレエ、ダンス、パフォーマンス」では、ほぼ4人に3人となっている。

### (4) 地域活動の実施状況・参加状況

《行われている》は42.5%だが、半数近くが「わからない」

参加状況は、《参加している》は29.2%

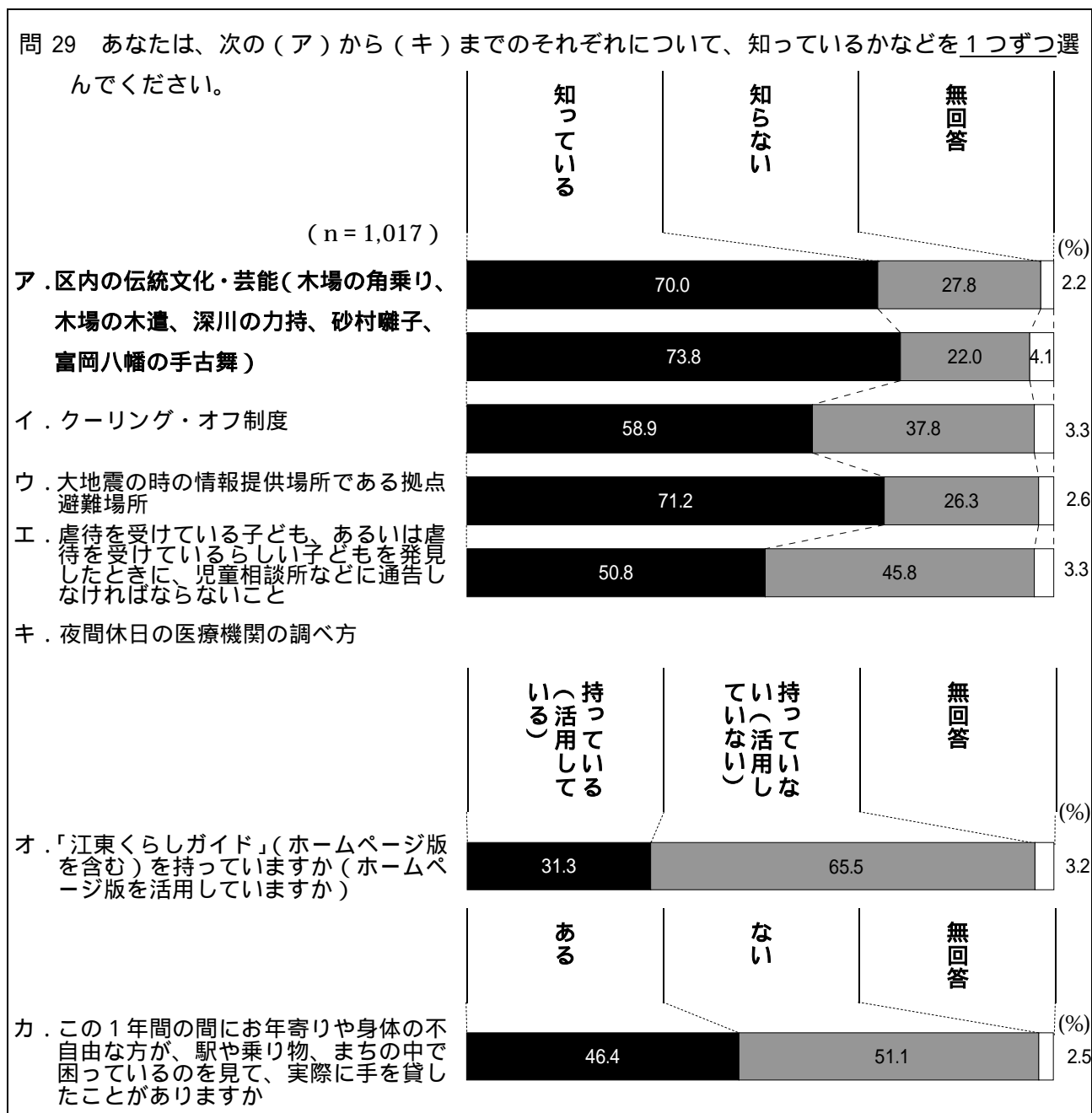


地域活動の実施状況を聞いたところ、「盛んに行われている」(15.3%)と「ときどき行われている」(27.2%)を合わせた、《行われている》(42.5%)は4割を超える。

参加状況では、「参加している」(7.4%)と「ときどき参加している」(11.2%)、「まれに参加する」(10.6%)を合わせた、《参加している》(29.2%)は、ほぼ3割となっている。

(5) 区事業等の認知度、活用状況

“クーリング・オフ制度”の認知度が73.8%で最も高い



区事業等の認知度、活用状況を聞いたところ、「知っている」は“クーリング・オフ制度”(73.8%)が4人に3人と最も高く、続いて“虐待を受けている子ども、あるいは虐待を受けているらしい子どもを発見したときに、児童相談所などに通告しなければならないこと”(71.2%)と“区内の伝統文化・芸能(木場の角乗り、木場の木遣、深川の力持、砂村囃子、富岡八幡の手古舞)”(70.0%)の2つが7割となっている。

“「江東くらしガイド」(ホームページ版を含む)”は「持っている(活用している)」(31.3%)が3割強だが、「持っていない(活用していない)」(65.5%)は6割を超えている。

“この1年間の間にお年寄りや身体の不自由な方が、駅や乗り物、まちの中で困っているのを見て、実際に手を貸したことがありますか”で「ある」(46.4%)は4割台半ばを超えている。

## (6) 生活時間

平日の【自由時間】は平均 177 分。休日の【自由時間】は平均 317 分。

問30 あなたの生活時間についておたずねします。次の(ア)から(ク)の行動にそれぞれ、どれぐらいの時間を使っていますか。平日と休日に分けてお答えください。記入は分単位で、ない場合は0(ゼロ)としてください。

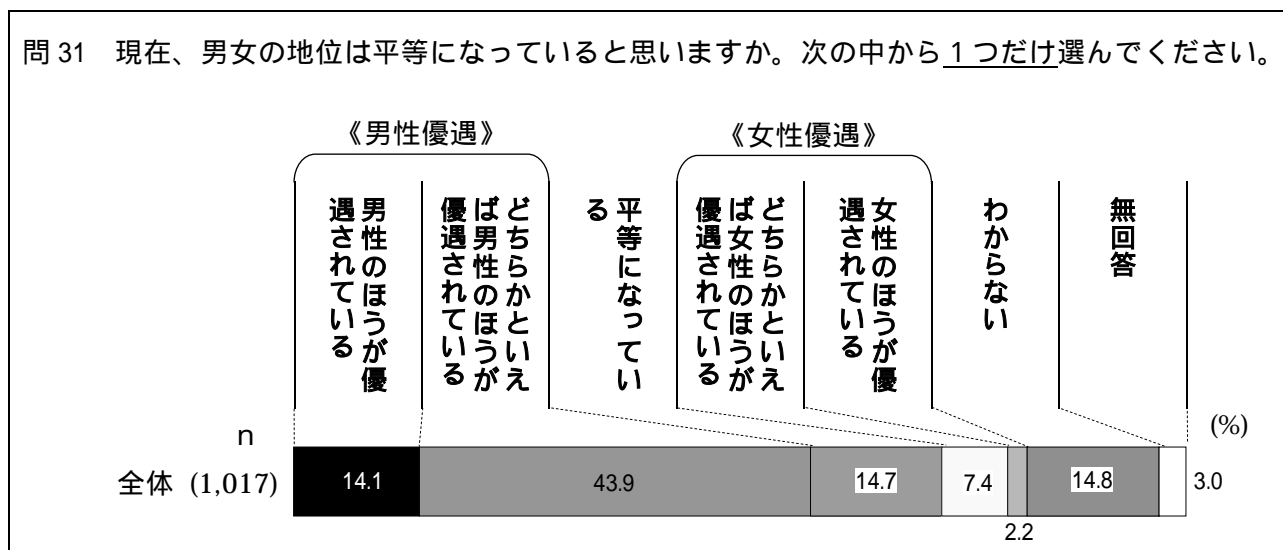
	ア自由時間	イ炊事	ウ洗濯	エ掃除	オ介護	カ子育て	キ買物	ク通勤(片道)
平日	177 分	59 分	30 分	24 分	11 分	43 分	34 分	28 分
休日	317 分	64 分	38 分	35 分	7 分	64 分	63 分	

【自由時間】が平日・休日ともに最も高く、平日で平均 177 分、休日で平均 317 分となっている。

## (7) 男女平等意識

《男性優遇》が 58.0%で、《女性優遇》は 1 割弱。

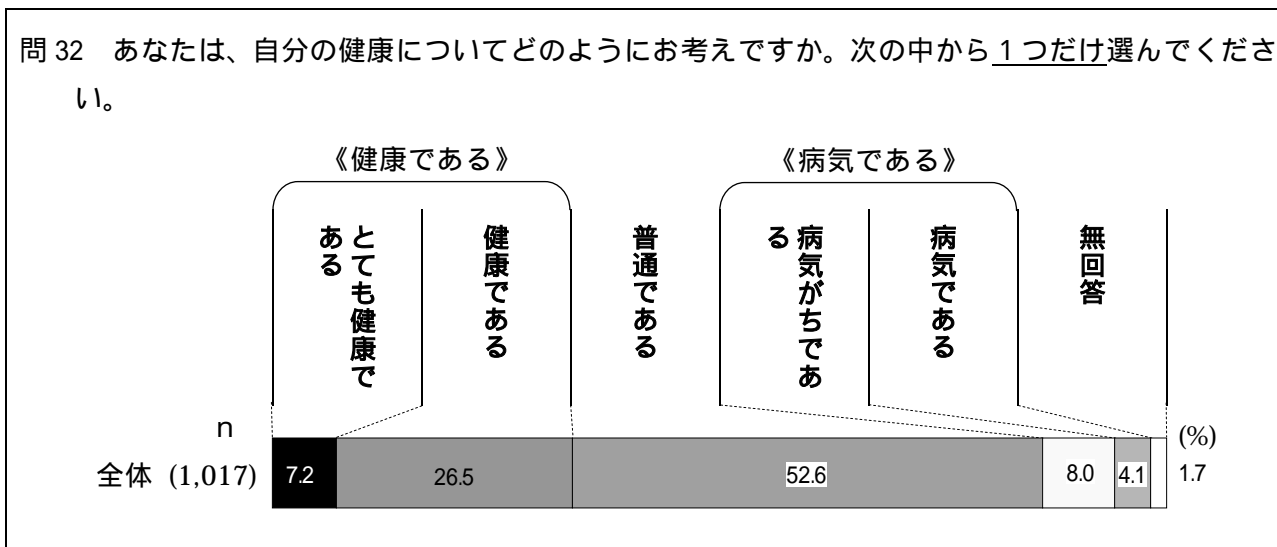
問 31 現在、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中から 1 つだけ 選んでください。



男女平等意識では、「男性のほうが優遇されている」(14.1%)と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」(43.9%)を合わせた、《男性優遇》(58.0%)が6割に近く、《女性優遇》(9.6%)の1割弱を大きく上回っている。

### (8) 自分の健康状態

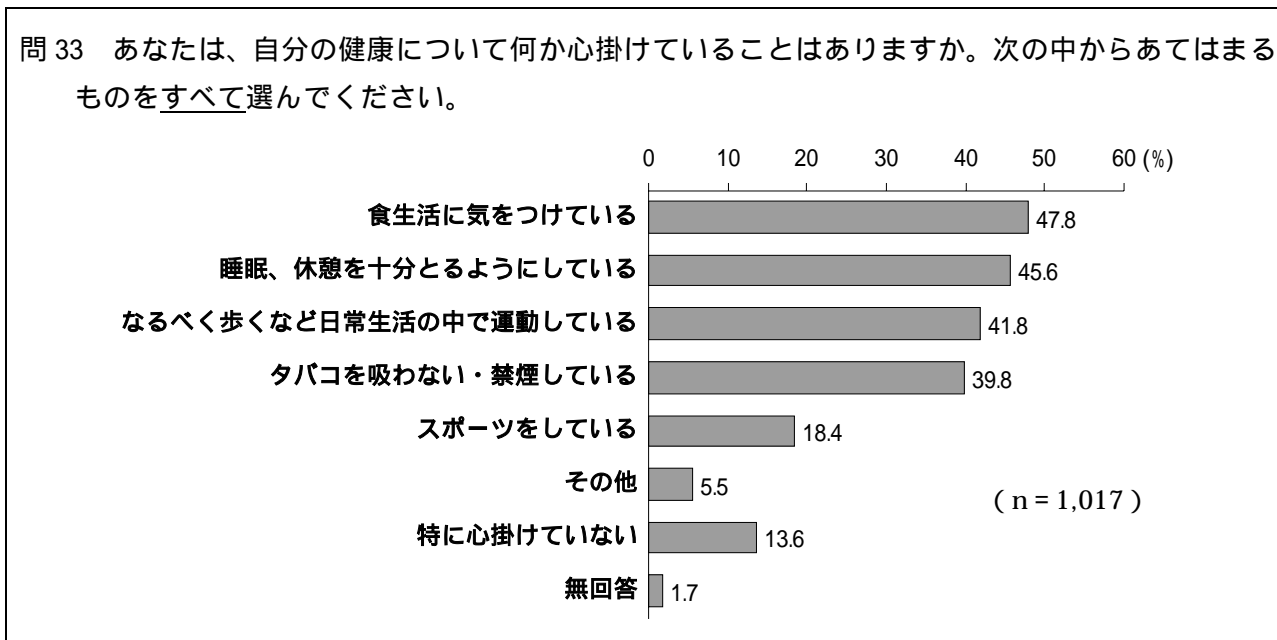
《健康である》は33.7%。「普通である」が52.6%で半数を超える



自分の健康状態について聞いたところ、「とても健康である」(7.2%)と「健康である」(26.5%)を合わせた、《健康である》(33.7%)は3人に1人である。また、「普通である」(52.6%)は半数を超えている。

### (9) 健康についての心掛け

「食生活に気をつけている」が47.8%でトップ

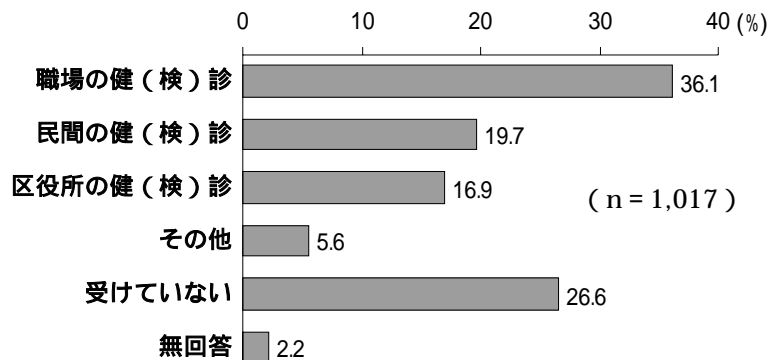


健康についての心掛けとしては、「食生活に気をつけている」(47.8%)が最も高く、続いて「睡眠、休憩を十分とるようにしている」(45.6%)が4割台半ば、「なるべく歩くなど日常生活の中で運動している」(41.8%)が4割強となっている。

### (10) 健康診断受診の有無

「職場の健（検）診」が 36.1%だが、「受けていない」も 26.6%と 4 人に 1 人

問 34 あなたは、この 1 年間にどこで健康診断を受けましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

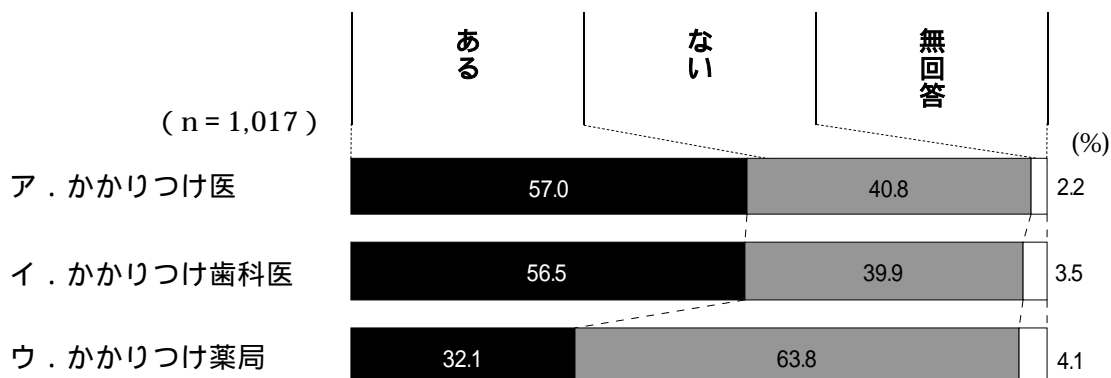


健康診断受診の有無について聞いたところ、「職場の健（検）診」(36.1%)が3割台半ばを超え最も高く、「民間の健（検）診」(19.7%)の2割弱、「区役所の健（検）診」(16.9%)と続く。一方、「受けていない」(26.6%)は4人に1人である。

### (11) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

“かかりつけ医”と“かかりつけ歯科医”が「ある」は過半数

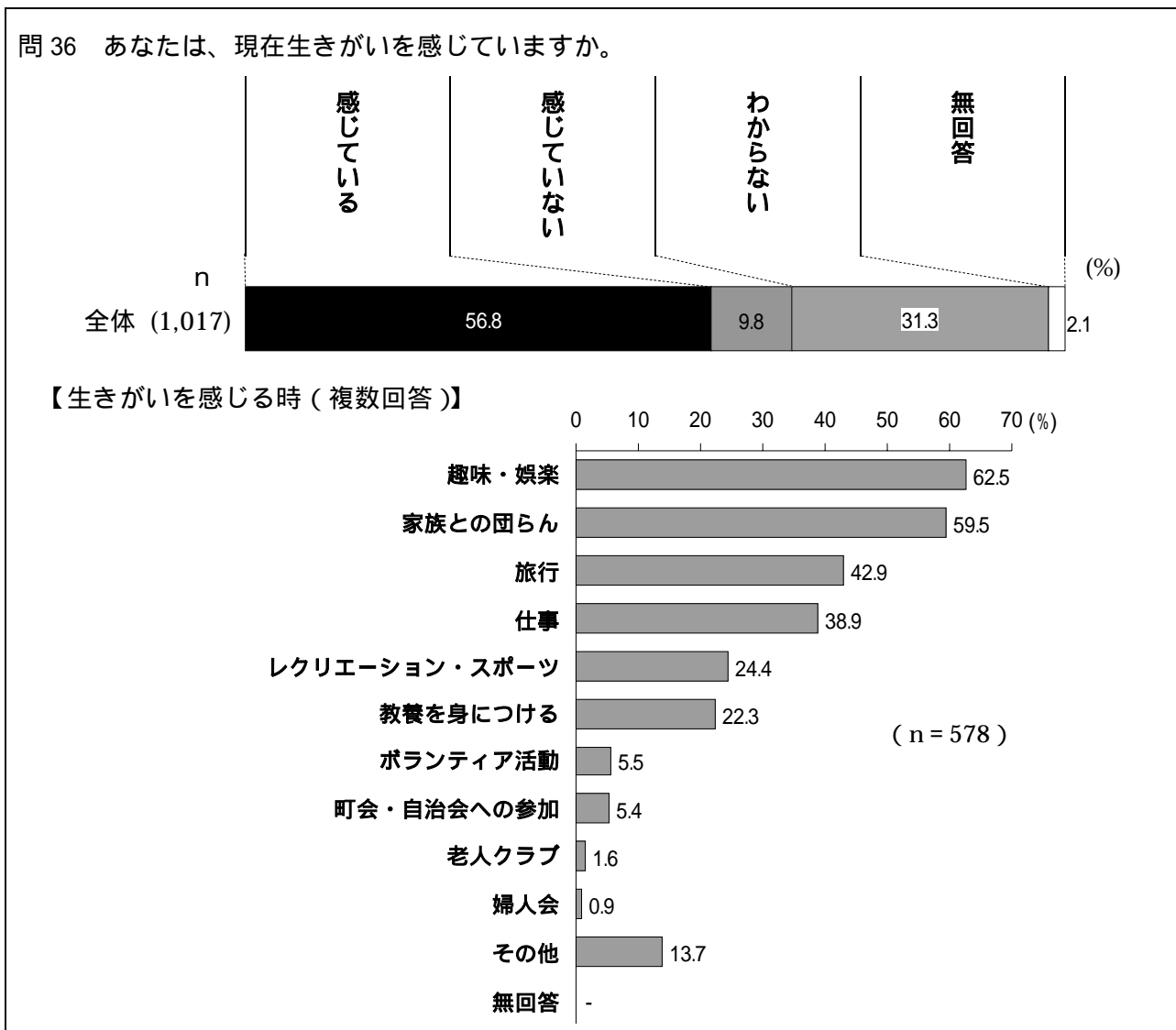
問 35 あなたは、かかりつけ医や歯科医・薬局がありますか。次の(ア)から(ウ)のそれぞれについて1つずつお答えください。



かかりつけ医・歯科医・薬局の有無については、「ある」は“かかりつけ医”(57.0%)と“かかりつけ歯科医”(56.5%)の2つが半数を超えている。一方、“かかりつけ薬局”(32.1%)は3人に1人である。

(12) 生きがいの有無

「感じている」が 56.8%で過半数



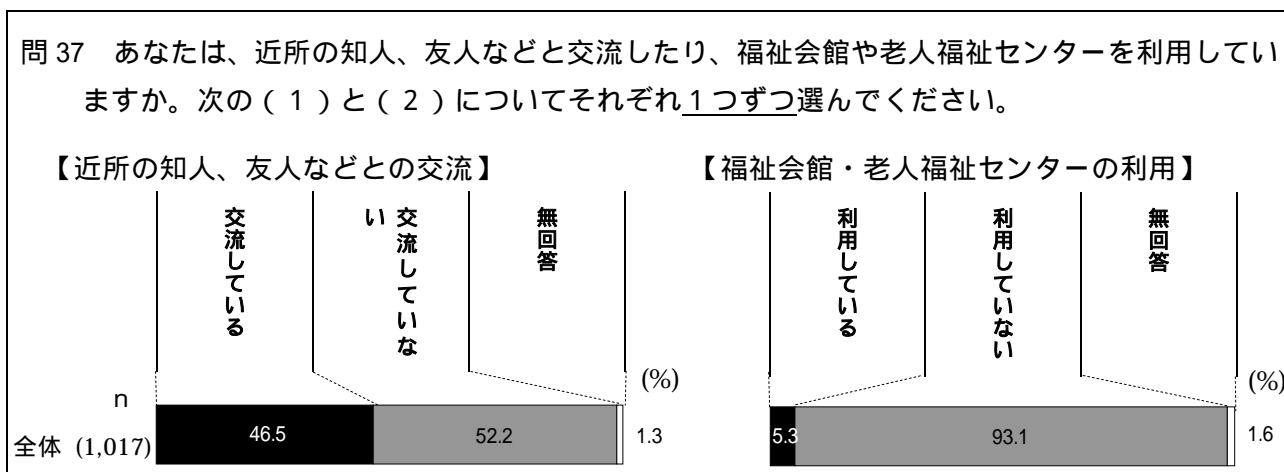
生きがいの有無を聞いたところ、「感じている」(56.8%)が半数を超え、「感じていない」(9.8%)は1割弱となっている。

「感じている」と回答した人の、生きがいを感じる時は、「趣味・娯楽」(62.5%)が6割を超えて最も高く、続いて「家族との団らん」(59.5%)が6割弱、「旅行」(42.9%)が4割強となっている。



### (13) 知人、友人などとの交流や福祉会館・老人福祉センターの利用

近所の知人、友人などと「交流している」は4割台半ばを超える

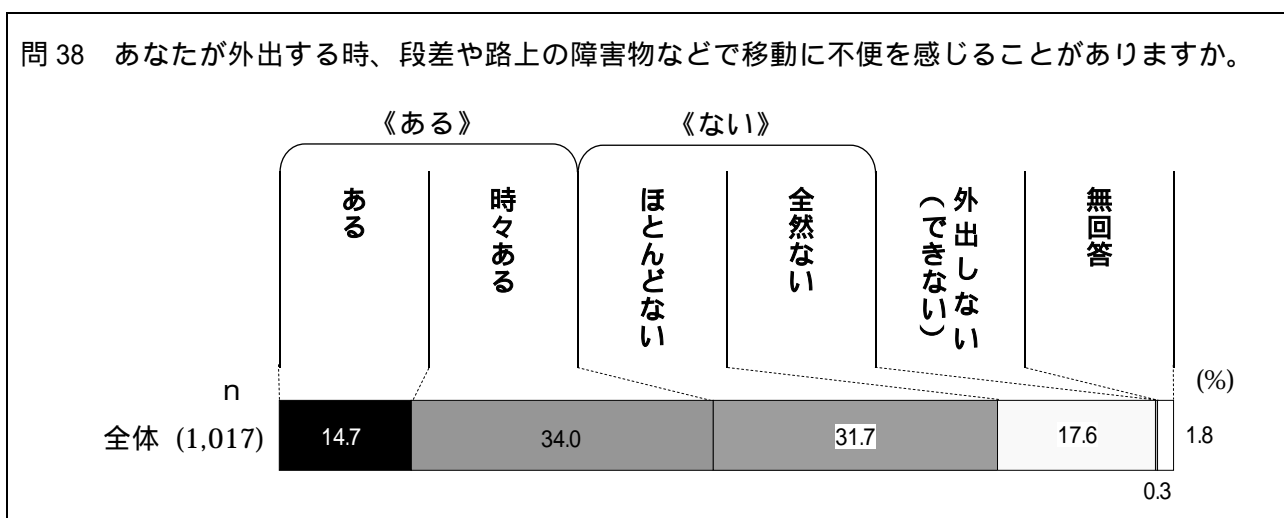


知人、友人などとの交流については、「交流している」(46.5%)が4割台半ばであるのに対し、「交流していない」(52.2%)が半数を超える。

福祉会館・老人福祉センターの利用では、「利用している」(5.3%)は1割にも満たず、「利用していない」(93.1%)が9割を超えている。

### (14) 段差や路上の障害物などで不便を感じる経験

経験が《ある》は48.7%で半数に近い

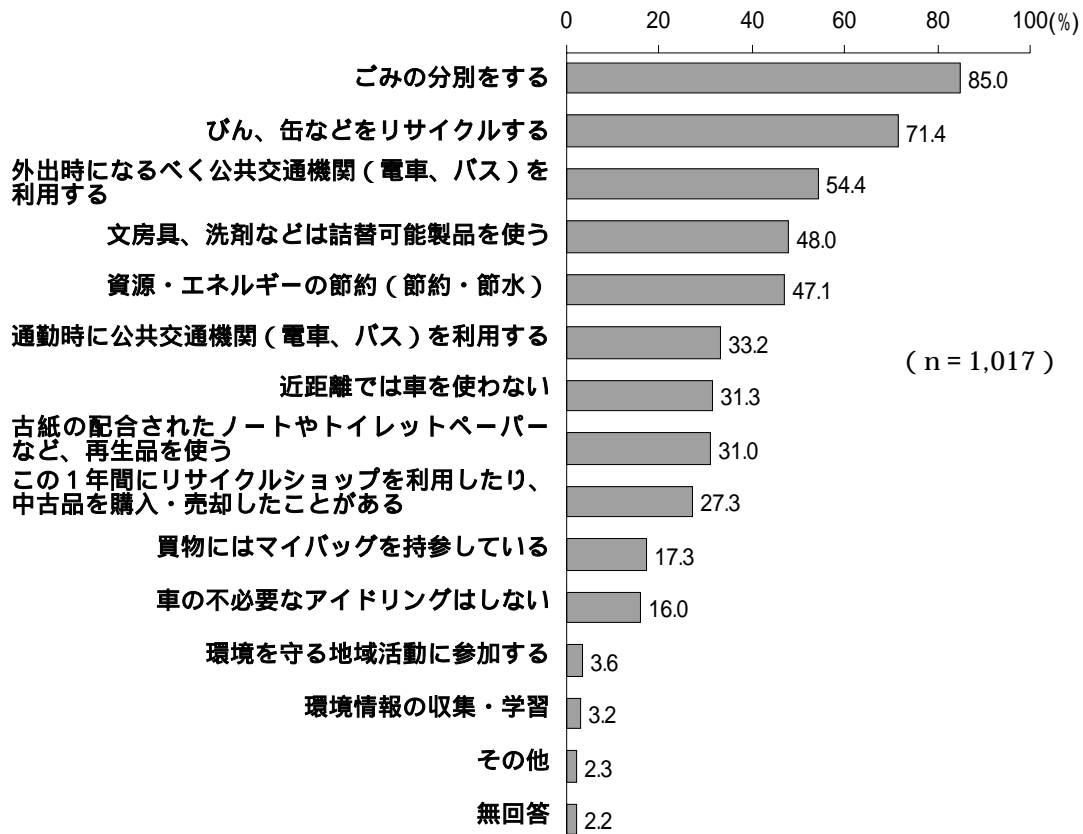


段差や路上の障害物などを不便を感じる経験が「ある」(14.7%)と「時々ある」(34.0%)を合わせた《ある》(48.7%)は、半数に近づいている。

(15) 環境保全のために実行していること

「ごみの分別をする」が85.0%でトップで、次が「びん、缶などをリサイクルする」の71.4%

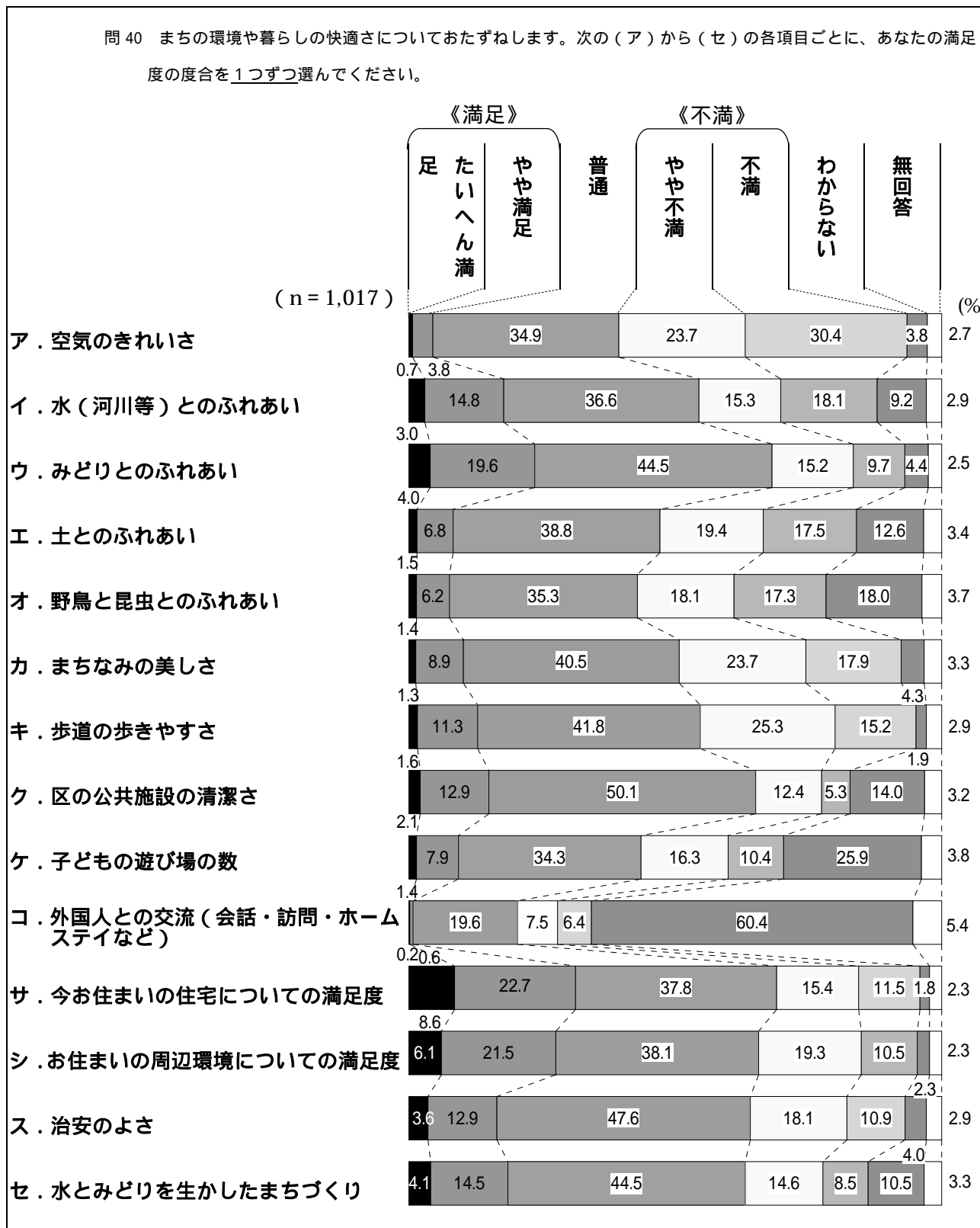
問39 あなたは、環境の保全のためにどのようなことをしていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



環境保全のために実行していることとしては、「ごみの分別」(85.0%)が8割台半ばで最も高く、続いて「びん、缶などをリサイクルする」(71.4%)が7割を超え、これら2項目が抜きん出ている。

(16) 生活環境評価

《満足》が高いのは、“今お住まいの住宅について”や“お住まいの周辺環境”など

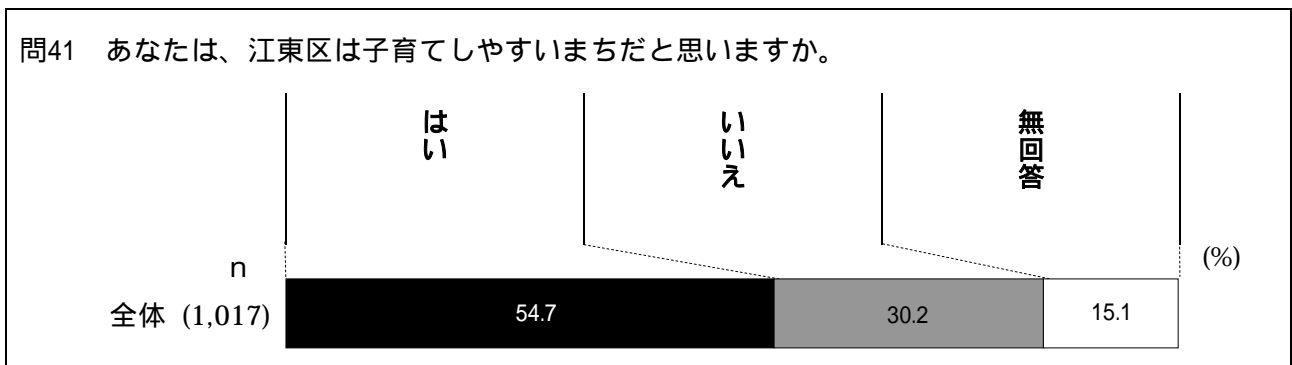


生活環境の満足度を14の項目に分け、それぞれの評価をたずねた。

「たいへん満足」と「やや満足」の評価を《満足》、「やや不満」と「不満」の評価を《不満》とすると、《満足》では“今お住まいの住宅について”(31.3%)が3割を超えて最も高く、《不満》では“空気のきれいさ”(54.1%)が5割台半ばと最も高くなっている。

### (17) 子育てのしやすさ

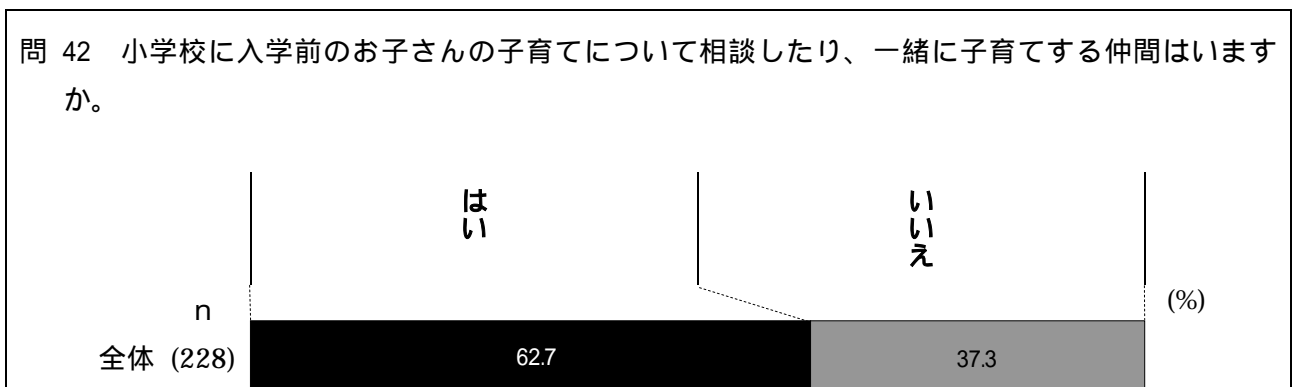
「はい」が54.7%で半数を超え、「いいえ」の3割を上回る



江東区が子育てしやすいまちかと聞いたところ、「はい」(54.7%)が半数を超え、「いいえ」(30.2%)の3割を上回っている。

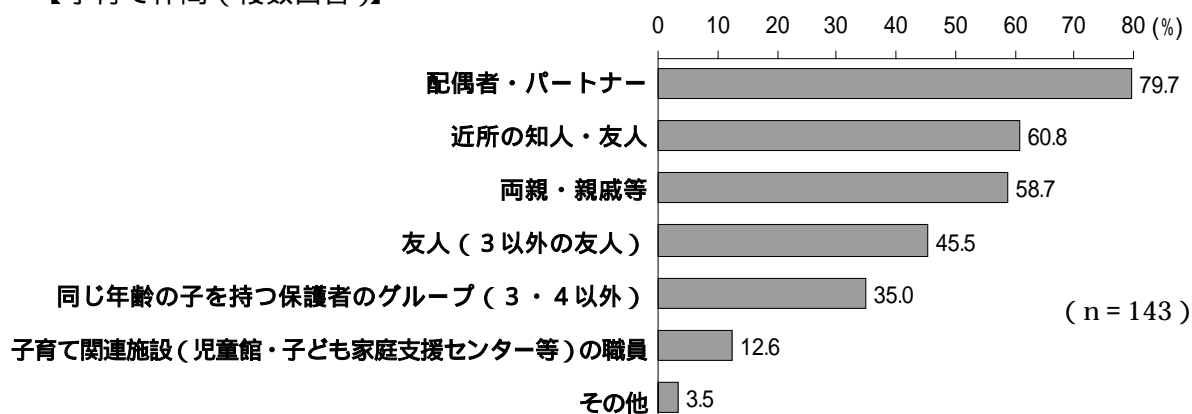
### (18) 子育て仲間の有無

「はい」が「いいえ」を上回る



(注) 図表は「小学校に入学前の子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

#### 【子育て仲間（複数回答）】



小学校に入学前のお子さんの子育てについて相談したり、一緒に子育てする仲間の有無を聞いたところ、全体では「はい」(14.1%)が「いいえ」(8.4%)を上回っている。

次に、全体の数値から「小学校に入学前の子どもはいない」(65.1%)と「無回答」(12.5%)を除いて再集計をしてみると、「はい」(62.7%)が6割強で、「いいえ」(37.3%)を大きく上回っている。

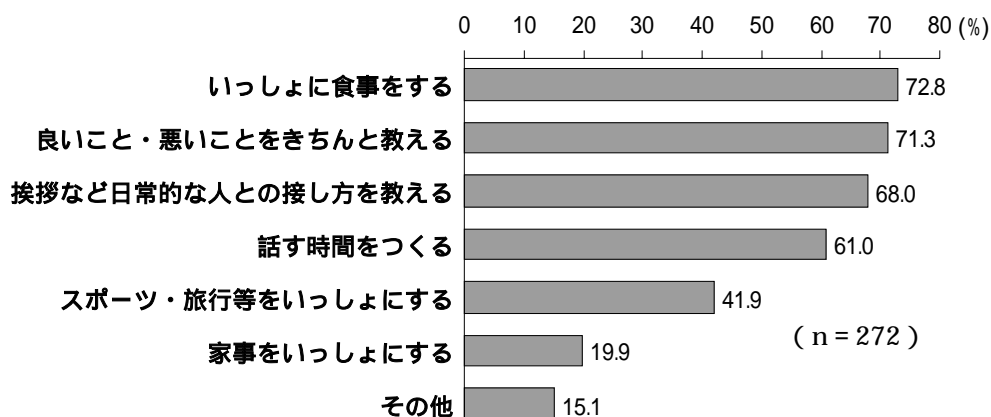
「はい」と回答した人の、その仲間は、「配偶者・パートナー」(79.7%)がほぼ8割で最も高く、

続いて「近所の知人・友人」(60.8%)と「両親・親戚等」(58.7%)の2つが6割前後となっている。

### (19) 子どもとのコミュニケーションについての心掛け

「一緒に食事をする」と「良いこと・悪いことをきちんと教える」が7割を超える

問 43 家庭でのお子さん(中学生まで)とのコミュニケーションについて、心掛けて実行していることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



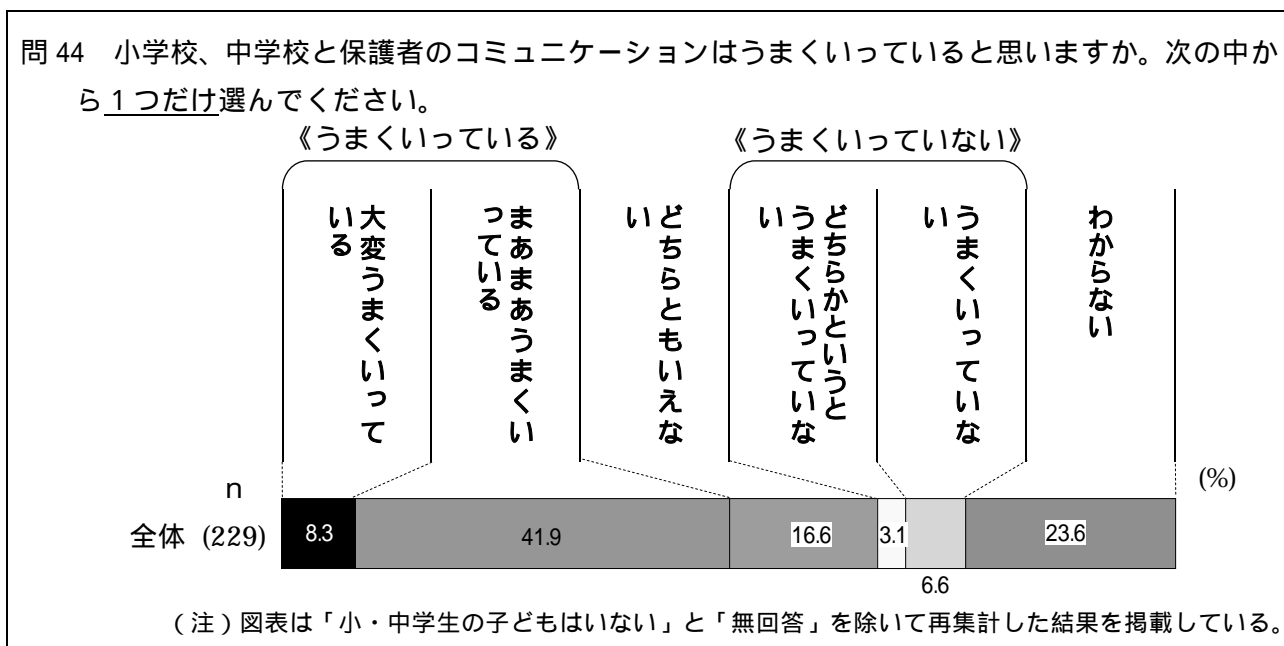
(注) 図表は「中学生までの子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

子どもとのコミュニケーションについての心掛けとしては、「いっしょに食事をする」(19.5%)、「良いこと・悪いことをきちんと教える」(19.1%)、「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(18.2%)、「話す時間を作る」(16.3%)の4項目が1割台半ばから2割に近くなっている。

次に、全体の数値から「中学生までの子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計をしてみると、「いっしょに食事をする」(72.8%)と「良いこと・悪いことをきちんと教える」(71.3%)の2つが7割を超え、続いて「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(68.0%)が7割弱、「話す時間を作る」(61.0%)が6割強となっている。

## (20) 小・中学校と保護者とのコミュニケーション状況

《うまくいっている》は50.2%でほぼ半数

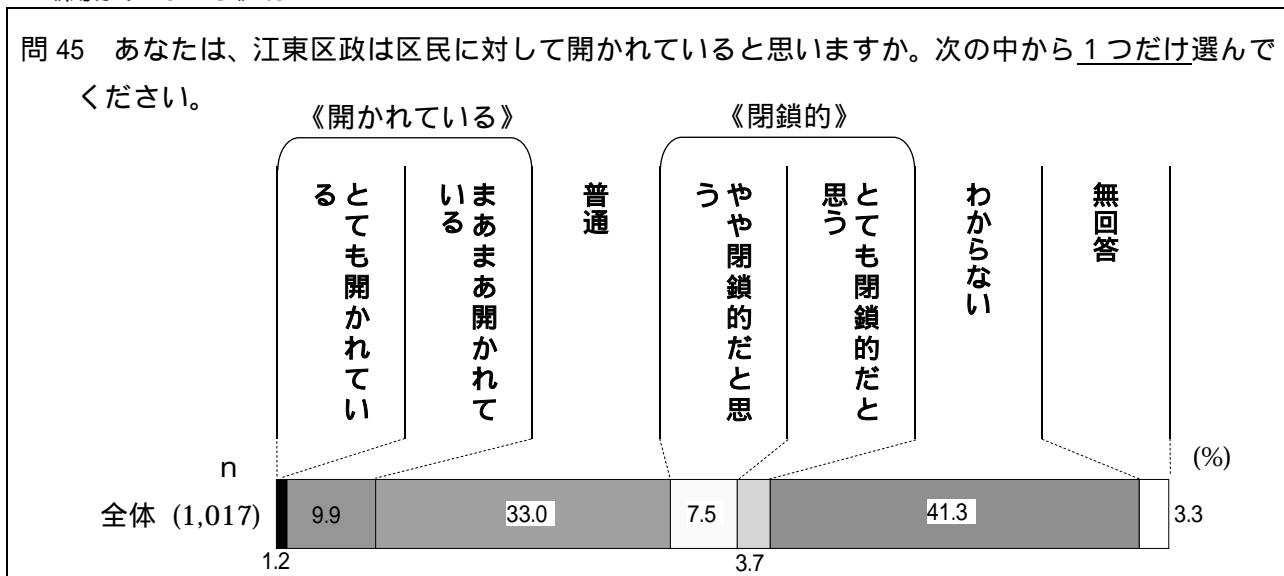


小・中学校と保護者とのコミュニケーション状況としては、「大変うまくいっている」(1.9%)と「まあまあうまくいっている」(9.4%)を合わせた、《うまくいっている》(11.3%)は1割強となっている。一方、「どちらかといううまくいっていない」(0.7%)と「うまくいっていない」(1.5%)を合わせた《うまくいっていない》(2.2%)はごくわずかとなっている。

なお、全体の数値から「小・中学校の子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計をしてみると、《うまくいっている》(50.2%)はほぼ半数となっている。その一方で、《うまくいっていない》(9.7%)は1割弱、「どちらともいえない」(16.6%)は1割台半ばとなっている。

## (21) 区政の公開度

《開かれている》は11.1%

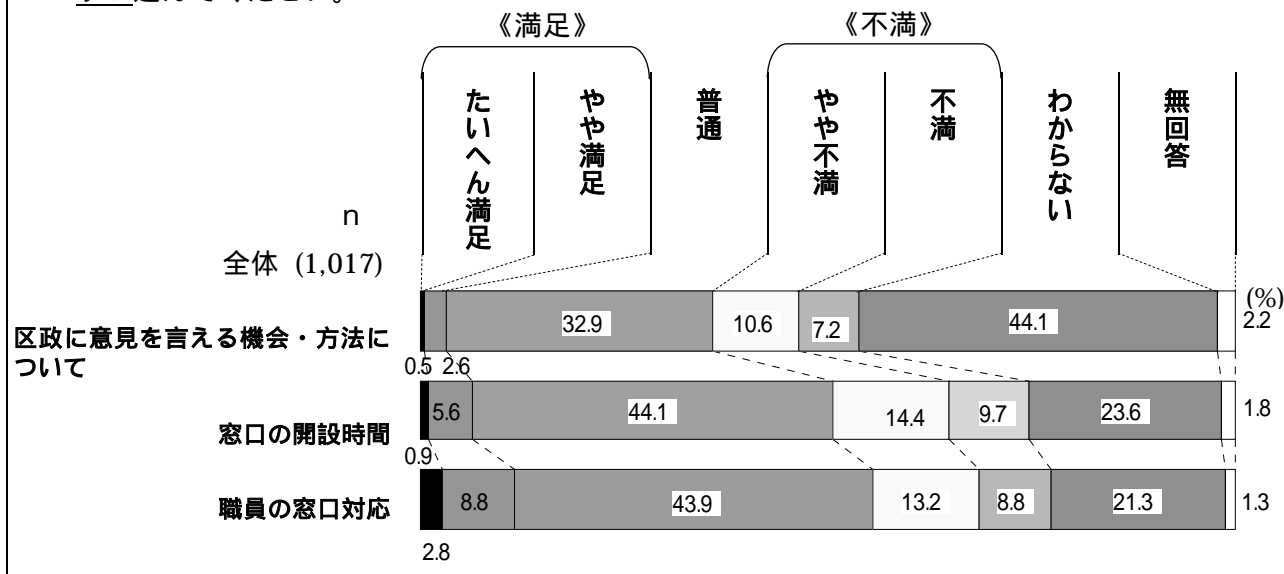


「とても開かれている」(1.2%)と「まあまあ開かれている」(9.9%)を合わせた、《開かれている》(11.1%)は1割強で、「やや閉鎖的だと思う」(7.5%)と「とても閉鎖的だと思う」(3.7%)を合わせた《閉鎖的》(11.2%)も1割強となっている。「わからない」(41.3%)が4割を超える。

## (22) 区政に対する満足度

《満足》が高いのは“職員の窓口対応”でほぼ1割

問 46 江東区政について、次の(ア)から(ウ)の各項目ごとに、あなたの満足度の度合いを1つずつ選んでください。



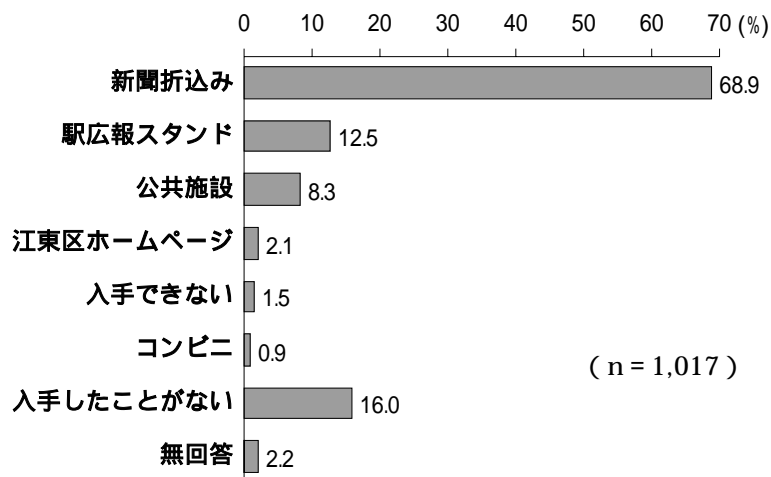
区政に対する満足度を聞いたところ、「たいへん満足」と「やや満足」を合わせた《満足》が高かったのは“職員の窓口対応”(11.6%)で1割強となっている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた《不満》では、“窓口の開設時間”(24.1%)と“職員の窓口対応”(22.0%)で2割を超えるなど、3つ全ての項目で《満足》を上回っている。また、「普通」は“窓口の開設時間”(44.1%)“職員の窓口対応”(43.9%)で4割を超えている。

【広報・広聴】

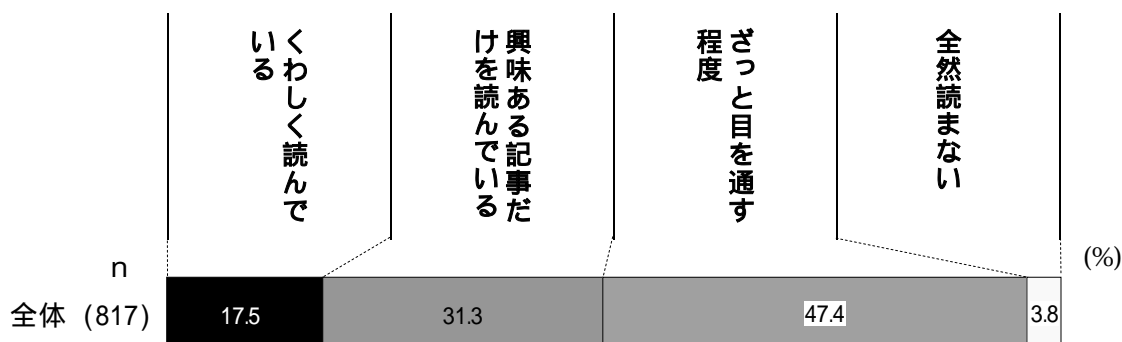
(1) 『こうとう区報』の入手方法、閲読状況

「新聞折込み」が7割に近い

問 47 『こうとう区報』の入手方法は、新聞折込み、各交通機関の駅広報スタンド、コンビニ、公共施設（図書館・出張所など）がありますが、区報をどのような方法で入手されていますか。次の中から2つまで選んでください。



【『こうとう区報』の閲読状況】



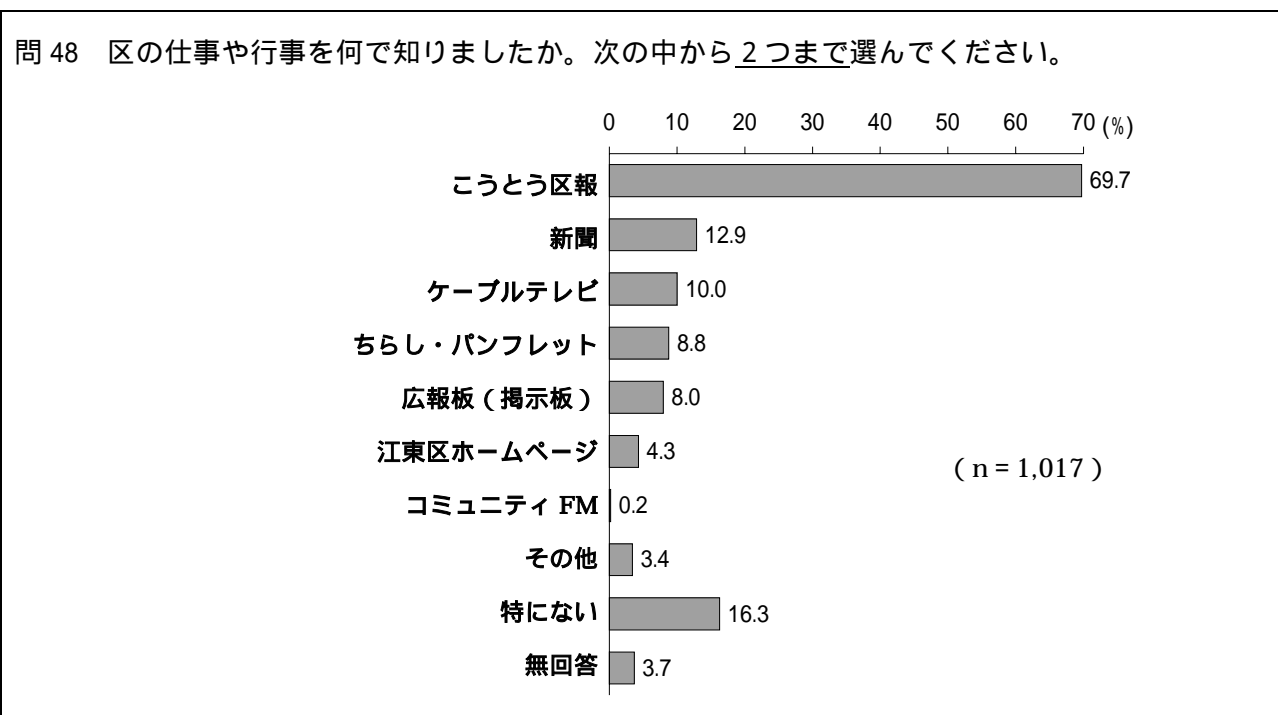
『こうとう区報』の入手方法としては、「新聞折込み」(68.9%)で7割弱と突出している。一方、「入手したことがない」(16.0%)が1割台半ばとなっている。

『こうとう区報』を入手したことがある方に、閲読状況を聞いたら、「ざっと目を通す程度」(47.4%)が半数に近く、続いて「興味ある記事だけを読んでいる」(31.3%)が3割強となっている。



## (2) 区の仕事や行事の認知媒体

『こうとう区報』が69.7%でほぼ7割と突出



区の仕事や行事の認知媒体としては、『こうとう区報』(69.7%)がほぼ7割で突出している。続いて、「新聞」(12.9%)と「ケーブルテレビ」(10.0%)の2つが1割となる。

### (3) 充実すべき施設

【総合】で「老人福祉施設」が34.0%と3人に1人

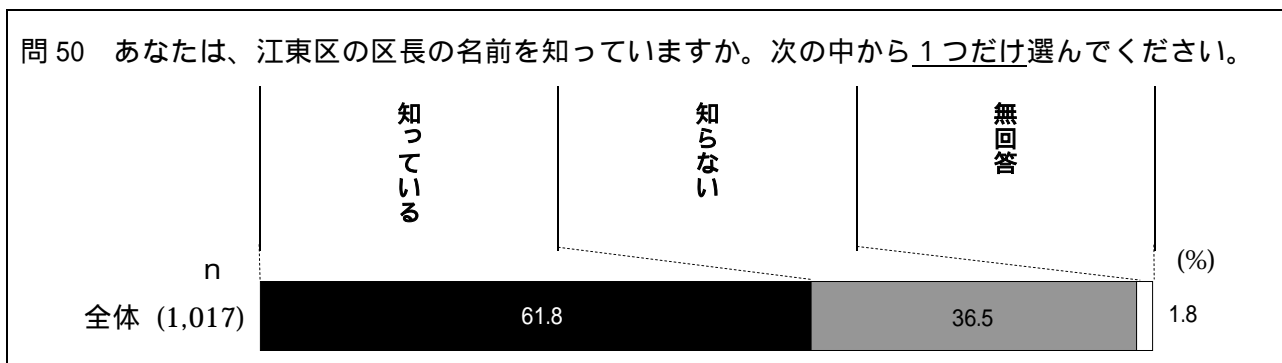
問 49 今後、区でさらにどのような施設を充実させていくべきだと思いますか。3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



第1位から第3位までを合わせた【総合】でみると、「老人福祉施設(特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど)」(34.0%)が3割台半ばで最も高く、続いて「自転車等駐輪場」(23.9%)と「スポーツ施設(体育館・プール・屋外運動場など)」(20.9%)の2つが2割を超えている。

#### (4) 区長名の周知状況

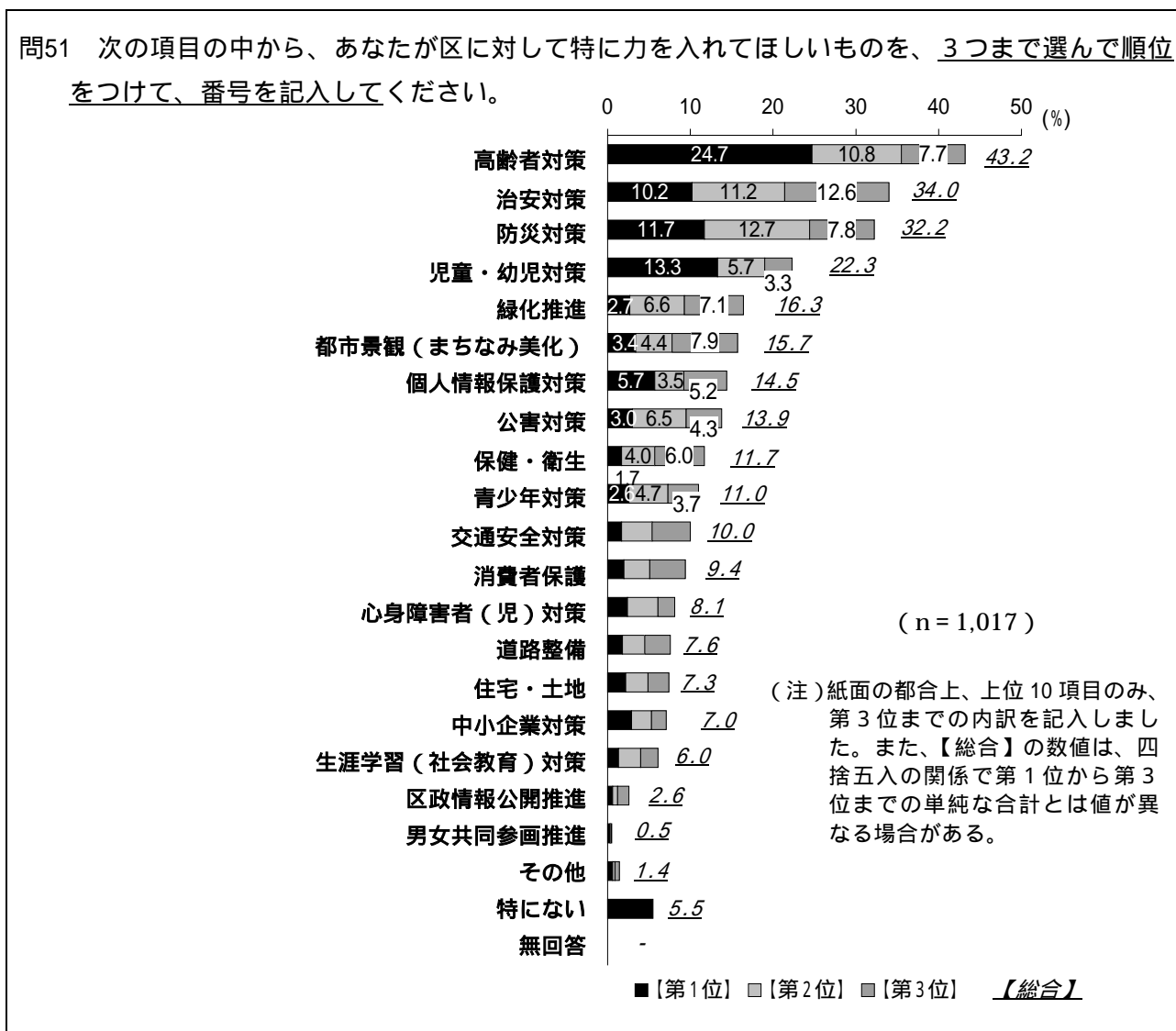
「知っている」は61.8%



区長名を「知っている」(61.8%)は約6割で、「知らない」(36.5%)の3割台半ばを上回っている。

#### (5) 施策への要望

「高齢者対策」が4割を超えトップ



【総合】で見ると、「高齢者対策」(43.2%)が4割を超え最も高く、続いて「治安対策」(34.0%)と「防災対策」(32.2%)の2つが3割を超えている。